

看護しずおか[🌿]

特集

令和元年度 公益社団法人

静岡県看護協会定時総会概要版

日時 令和元年6月28日(金)

10:30開会(受付 9:45~)

場所 静岡県コンベンションアーツセンター
「グランシップ」中ホール・大地

令和元年度

VOL.1



「令和を
健やかに歩め！」

会員数 20,076名(令和元年 5月1日 現在)

●保健師…489名 ●看護師…18,102名
●助産師…759名 ●准看護師…726名



公益社団法人 静岡県看護協会

静岡県看護協会

検索

<http://www.shizuoka-na.jp>

「静岡県看護協会」
お気軽にご利用下さい。





会員の皆様には、日頃より本会の事業にご支援とご協力をいただき、平成30年度の事業も滞りなく実施できましたことを心よりお礼申し上げます。

本年5月1日に元号が「平成」から「令和」へと変わり、新たな時代を迎えました。その変化の中にあって、人々の健康な生活の実現を目指し、これまで以上に看護職が持てる力を最大限に発揮し、生き生きと活躍できるよう支援する静岡県看護協会でありたいと改めて強く思う次第です。

さて、人口構造や社会の著しい変化により2025年問題にとどまらず、さらなる将来を見据えた人材確保・育成、健康寿命延伸に係る予防と健康増進等の課題に取り組む必要があります。このような背景を踏まえ、県民や会員の声を大切に風通しの良い組織運営に努め、医療・看護の動向を注視し、専門職能団体として本会の理念を基に看護職を取り巻く課題解決に向け尽力します。

平成30年度末の会員数は、21,129名と昨年20,349名より780名増となりました。皆様のご協力に感謝し、今後も組織力強化に努めます。

本年度の重点事項は、次の5項目です。

1. 地域包括ケアにおける看護提供体制の推進

3年目の看護職連携推進支援事業は、県内全域ヘネットワークを拡大するとともに県民との情報交換の場を増やします。新規事業は「病院看護職員の訪問看護ステーションへの出向研修事業」を県行政の基金を活用し展開します。

2. 少子・超高齢・多死社会に対応できる看護職の育成

本年特定行為研修教育機関が県内3か所で開講し、研修受講者が増えています。さらなる増加に向け、広報活動を通じ支援をします。

3. 看護基礎教育制度改革の推進

昨年に引き続き、教育関係者との「看護基礎教育を考える会」を実施します。新規事業の「看護職のあり方に関する基本的な考え方の普及」は、日看協が作成した「看護チームにおける看護師・准看護師・看護補助者の業務のあり方に関するガイドライン」を活用し、研修会の開催と周知をします。

地域と連携した看護職確保事業は、新たな地域で取り組みます。

4. 健康で働きつづけられる職場環境改善の推進

本年度はヘルシーワークプレイス研修を組織的に体制の構築を行う目的で、看護管理者を対象に実施します。

5. 地域における看護職の活動推進

地区支部長が市町の行政会議に出席時、本会の事業に照らし政策提言できるよう支援体制を整備します。

会員の皆様と十分な意見交換ができ、有意義な総会になることを期待しております。

引き続き、ご支援をよろしくお願いいたします。

平成30年度 第5回定時理事会報告

■ 開催日時 平成31年3月19日(火) 14:00～16:00

■ 会 場 静岡県看護協会第1会議室

出席理事: 18名、欠席理事: 3名 定款第38条に基づき、定足数12名を満たしていることを確認

出席監事: 2名、欠席監事: 1名

1. 協議事項 (すべての事項について承認される)

- | | | |
|-----------------------|--------------------------|---------------------------|
| (1) 2019年度 事業計画(案) | (3) 静岡県看護協会職能委員会委員の選任(案) | (5) 公益社団法人静岡県看護協会規程の改正(案) |
| (2) 2019年度 当初収支予算書(案) | (4) 静岡県看護協会委員会委員の選任(案) | (6) 事務局長の採用(案) |

2. 報告事項

- | | |
|------------------------|------------------------------|
| (1) 会員入会の申請状況 | (3) 行政機関・関係団体の役員・委員の就任状況について |
| (2) 2019年度特別委員会の委員について | (4) その他 ・2019年度行事予定 ・会員特典の追加 |

笑顔の写真 大募集!!

広報委員会

看護しずおかの表紙を飾る笑顔にあふれた写真を募集します!あなたの職場の仲間、ご家族、お子様の笑顔の写真を送ってください。採用の場合には謝礼を差し上げます。なお、採用の可否については、広報委員会で決定します。

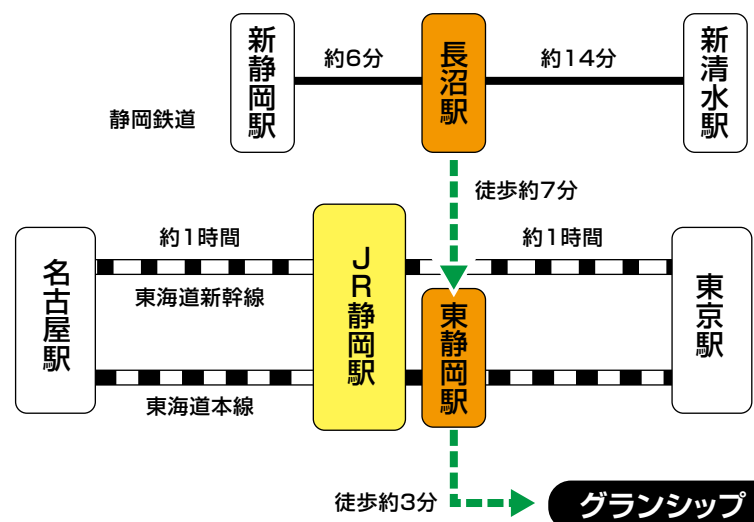
応募締切: 6月、8月、10月、12月、2月の各末日

写真規格: デジタル写真(できるだけ画素数の高いもの) ※写真のタイトルか説明を一言添えてください。

送 付 先: 静岡県看護協会「表紙の写真」(Email: kango@shizuoka-na.jp)

令和元年度 公益社団法人静岡県看護協会 定時総会プログラム

- 9:45 開場
オリエンテーション
- 10:30 開会のことば
会長挨拶
静岡県看護協会会長表彰
受賞者紹介
来賓祝辞
来賓紹介（祝電披露）
- 11:15 議長選出
議事録署名人・書記選出
議案第1号 静岡県看護協会名誉会員の推薦（案）
議案第2号 令和元年度改選役員及び推薦委員の選出について
議案第3号 令和2年度日本看護協会代議員及び予備代議員の選出について
- 11:45 報告第1号 平成30年度事業報告
- 12:05 昼休憩
- 12:50 報告第1号 平成30年度事業報告〔委員会・地区支部報告〕
議案第4号 平成30年度決算書（案）及び監査報告
報告第2号 令和元年度重点事項及び事業計画
報告第3号 令和元年度収支予算
報告第4号 日本看護協会会議報告
報告第5号 令和元年度日本看護協会通常総会報告
報告第6号 平成30年度定時総会議事録
次年度選挙管理委員任命
旧役員・新役員紹介
- 14:35 閉会



氏名 いとう かちこ
伊藤 かつ子

昭和 15 年 7 月 26 日生（77 歳）

推薦理由

昭和 43 年静岡県立厚生保育専門学校保健学科卒業後、静岡市役所へ入職、静岡市中央保健所保健婦係にて、当時まだ公衆衛生看護の確立がなされていない時代に、地域住民の健康を守るというスローガンの基、公衆衛生の向上のために行政の保健婦としての活動を開始した。

昭和 43 年当時の家庭訪問は、結核と未熟児が中心で、担当区域一円を自転車に乗り走りながら、おむつが干してある家庭に自ら声をかけ、児の健やかな成長のために育児指導を行った。健診では町内会役員の支援を受けながら、住民の健康調査の結果をアセスメントし、アプローチ方法を模索し施策へ反映した。

昭和 54 年「保健センター設置」という国の施策により、静岡市に保健センター第 1 号が設立された。住民に認知され愛される保健センターを目指し、仲間を鼓舞して「保健センター便り」を定期的に発行した。また、当時すでに核家族が多く、医療機関から在宅に戻った脳血管障害等で寝たきりの方の看護に介護者が苦闘しているという地域課題を捉え、「父親教室」「家庭看護教室」と時代のニーズを先取りした県下でも初めての施策を生み出した。その取組みは、マスコミに取り上げられ話題になった。また、老人保健法施行以前から、脳卒中におけるリハビリテーションでは医師と協働し、「リハビリ教室」を開催した。今でこそ地域支援の視点に立ち、患者を主体としたボランティアへの取り組みが行われているが、当時高齢者の権利を尊重し、地域住民の主體的な支援を仰ぐボランティアの育成は消極的であったが、氏は一早くボランティアの育成に取り組み成果をあげた。

保健婦として何よりも大事な点は、国の施策として上がる前に、地域課題を捉え先駆的に課題解決へと施策化していくことである。そのことについて、後輩保健婦と課題を共有し地区組織活動に発展させた功績は多大であった。

静岡県看護協会においては、昭和 50 年から教育委員、日本看護協会静岡県支部保健婦部会書記長、昭和 62 年から看護制度委員、平成 7 年から先駆的保健活動推進交流委員、平成 11 年から静岡県看護協会理事、平成 13 年から静岡県看護協会常務理事を歴任し、その間、静岡県看護協会会館建設という課題に取り組み、丁寧に会員からの意見を聴取し会員の目線に立った建設地の選択、設計依頼の傍ら、行政へ助成金依頼に奔走し、静岡県看護協会の発展に寄与した。

氏は、静岡県看護協会での役員・委員を 22 年の長きにわたり務め、保健婦活動を活かした看護の質の向上と、看護協会の発展に寄与した功績は多大であり、名誉会員に推薦する。

（協会歴）

理事、常務理事、日本看護協会静岡県支部保健婦部会書記長、教育委員、看護制度委員・委員長、先駆的保健活動推進交流委員

（受賞歴）

静岡県衛生研究会連合総裁表彰、静岡県医師会高等看護学院感謝状、静岡市永年勤務表彰、静岡県看護協会会長表彰、公衆衛生協会会長表彰、厚生大臣表彰、日本看護協会会長表彰

令和元年度改選役員及び推薦委員の選出について

静岡県看護協会役員選挙候補者名簿

(任期：令和元年定時総会終結後から令和3年定時総会終結時まで)

1 理事候補者名簿 (対象人数22人 推薦人数22人)

役職名	任期満了者	候補者	
		氏名	所属施設
会長候補	渡邊 昌子	渡邊 昌子	公益社団法人静岡県看護協会
副会長候補	平井 弘美	平井 弘美	個人
副会長候補	間淵 元子	間淵 元子	静岡赤十字病院
理事	柏崎 順子	柏崎 順子	公益社団法人静岡県看護協会
理事	牧野 明美	櫻井 郁子	公益社団法人静岡県看護協会
理事	鈴木 千春	松井 順子	聖隷福祉事業団法人本部
保健師職能理事	土屋 厚子	土屋 厚子	静岡県健康福祉部医療健康局
助産師職能理事	西郷 美智子	西郷 美智子	静岡徳州会病院
看護師職能理事	松本 志保子	松本 志保子	岡本石井病院
看護師職能理事	松井 順子	戸田 美也子	看護小規模多機能型居宅介護 とうか
地区理事 (賀茂)	正木 晶子	小川 秋美	西伊豆健育会病院
地区理事 (熱海・伊東)	前川 美奈子	鈴木 和美	伊東市民病院
地区理事 (東部)	佐野 文子	石井 広美	中伊豆温泉病院
地区理事 (富士)	高橋 ハマ子	磯崎 まさ代	新富士病院
地区理事 (静岡)	櫻井 郁子	牛之濱 千穂子	静岡済生会総合病院
地区理事 (志太・榛原)	平野 一美	齊藤 博子	藤枝平成記念病院
地区理事 (中東遠)	八木 純	津島 準子	公立森町病院
地区理事 (西部)	鈴木 恵美子	岩品 希和子	浜松医科大学医学部附属病院
准看護師理事	若杉 佐知子	松下 直美	静岡徳州会病院
学識経験者理事	大岩 茂則	菅沼 明人	一般社団法人静岡県医師会
学識経験者理事	松浦 康夫	松浦 康夫	静岡県社会福祉協議会
学識経験者理事	廣瀬 清久	中村 光央	静岡県弁護士会

2 監事候補者名簿 (対象人数 3人 推薦人数 3人)

役職名	任期満了者	候補者	
		氏名	所属施設
監事	山元 道子	山元 道子	医療法人社団真養会 法人本部
監事	杉山 茂子	遠藤 さよ子	富士市立中央病院
学識経験者監事	小野田 武	櫻田 和秀	税理士法人とうめい

静岡県看護協会推薦委員候補者名簿

(任期：令和元年定時総会終結後から令和3年定時総会終結時まで)

(対象人数8人 推薦人数8人)

任期満了者	候補者	
	氏名	所属施設
三輪 眞知子	三輪 眞知子	個人
平野 幸子	平野 幸子	聖隷健康診断センター
諸星 浩美	諸星 浩美	するが看護専門学校
江口 洋子	江口 洋子	浜松医療センター
太田 優子	太田 優子	市立御前崎総合病院
遠藤 さよ子	岩瀬 和代	静岡県立こども病院
田中 万里子	増田 伊佐世	榛原総合病院
小林 貴子	原 弘子	伊豆赤十字病院

議案第3号 令和2年度日本看護協会代議員及び予備代議員の選出について

令和2年度日本看護協会代議員・予備代議員候補者名簿

種類	職種	名 前	施 設
代 議 員	1 保健師	平井 弘美	個人
	2 看護師	柏崎 順子	公益社団法人 静岡県看護協会
	3 看護師	櫻井 郁子	公益社団法人 静岡県看護協会
	4 保健師	土屋 厚子	静岡県健康福祉部
	5 助産師	西郷 美智子	静岡徳州会病院
	6 看護師	戸田 美也子	看護小規模多機能型居宅介護 とうか
	7 准看護師	松下 直美	静岡徳州会病院
	8 看護師	鈴木 和美	伊東市民病院
	9 看護師	磯崎 まさ代	新富士病院
	10 看護師	牛之濱千穂子	静岡済生会総合病院
	11 看護師	津島 準子	公立森町病院
	12 看護師	佐野 啓子	富士いきいき病院
	13 看護師	松永 光代	共立蒲原総合病院
	14 看護師	松永 五月	富士宮市立病院
	15 看護師	岩本 真弓	静岡県立総合病院
	16 看護師	絵幡 学	静岡県立こころの医療センター
	17 看護師	菊池 美和子	J A静岡厚生連 静岡厚生病院
	18 助産師	山田 明美	焼津市立総合病院
	19 看護師	野末 ひとみ	浜松市リハビリテーション病院
	20 看護師	高橋 円香	浜松医療センター
	21 看護師	小野原 玲子	総合病院 聖隷浜松病院

種類	職種	名 前	施 設
予 備 代 議 員		助産師 諸星 浩美	J A静岡厚生連するが看護専門学校
		保健師 三輪 眞知子	個人
		准看護師 田村 まり子	市立御前崎総合病院
		看護師 白井 さつき	富士市立中央病院
		看護師 岩瀬 和代	静岡県立こども病院
		看護師 中野 悦代	総合病院 聖隷浜松病院
		看護師 太田 明子	静岡市立静岡病院
		看護師 高塚 由紀子	総合病院 聖隷浜松病院
		看護師 森田 恭子	藤枝市立総合病院
		看護師 江上 直美	聖隷三方原病院
		看護師 堀井 直美	市立御前崎総合病院
		看護師 須永 訓子	浜松医科大学医学部附属病院
		看護師 松浦 裕樹	焼津市立総合病院
		看護師 伊藤 章代	聖隷三方原病院
		看護師 間瀬 元子	静岡赤十字病院
		看護師 松井 順子	聖隷福祉事業団法人部
		看護師 松本 志保子	岡本石井病院
		看護師 小川 秋美	西伊豆健育会病院
		看護師 石井 広美	中伊豆温泉病院
		看護師 齊藤 博子	藤枝平成記念病院
		看護師 岩品 希和子	浜松医科大学医学部附属病院

○事業項目1 教育等看護の質の向上に関する事業

事業細目	内 容
(1) 人材育成を促進するための継続教育	①看護実践能力の育成 (12 研修) ②組織的役割遂行能力の育成 (11 研修) ③自己教育の推進 (1 研修) ④研究能力の育成 (3 研修) ⑤特別研修 (2 研修)
(2) 資格認定教育	①認定看護管理者教育 ・「認定看護管理者教育課程ファーストレベル (28 日間)」67 名修了 ・「認定看護管理者教育課程セカンドレベル (33 日間)」35 名修了 ・セカンドレベルフォローアップ研修 (平成 29 年度修了生) 5 月 25 日 (金)32 名受講 ②認定看護師教育 ・認定看護師教育課程脳卒中リハビリテーション看護フォローアップ ^o 研修 33 名受講
(3) 静岡県からの受託研修	①新人看護職員研修 ・「新人看護職員研修―多施設合同研修― (6 日間)」39 名受講 ・「新人看護職員指導者研修 研修責任者研修 (4 日間)」15 名受講 ・「新人看護職員指導者研修 教育担当者研修 (4 日間)」37 名受講 ・「新人看護職員指導者研修 実地指導者研修 (4 日間)」51 名受講 ②重症心身障害児 (者) 対応看護従事者養成研修 8 月 4 日 (土) 54 名受講 ③高齢者権利擁護等推進「看護実務者研修」(2 日間) 11 月 16 日 (金)・17 日 (土) 静岡県看護協会 40 名受講 ④看護の質向上促進研修Ⅰ・Ⅱ 423 名受講 (Ⅰ -195 名 Ⅱ -228 名) Ⅰ 伊豆 10 月 3 日 (水) 伊東市民病院 15 名受講 東部 8 月 1 日 (水) プラサヴェルデ 74 名受講 中部 6 月 1 日 (金) 静岡県看護協会 31 名受講 西部 8 月 30 日 (木) アクトシティ浜松 75 名受講 Ⅱ 伊豆 9 月 1 日 (土)・22 日 (土) 下田メディカルセンター 30 名受講 東部 7 月 7 日 (土)・21 日 (土) プラサヴェルデ 54 名受講 中部 6 月 16 日 (土)・30 日 (土) 静岡県看護協会 37 名受講 西部 8 月 4 日 (土)・18 日 (土) アクトシティ浜松 107 名受講 研修科目: 感染予防対策・医療安全対策・認知症看護・地域包括ケア支援における看護職の役割 ⑤看護職員管理者の相互研修 「暮らしをつなげる看護職員のための研修」(4 日間) 96 名受講 3 地区 6 月 20 日 (水)・28 日 (木) 静岡県看護協会 東部 9 月 5 日 (水) プラサヴェルデ 33 名受講 中部 8 月 23 日 (木) 静岡県看護協会 31 名受講 西部 9 月 19 日 (水) アクトシティ浜松 32 名受講 ⑥看護職員実習指導者等講習会 (40 日間) 9 月 6 日 (木)～12 月 6 日 (木)85 名受講 ⑦看護職員実習指導者等講習会―特定分野― (7 日間) 10 月～11 月 28 名受講 ⑧看護教員継続研修 ・成長段階別研修 (3 日間) 8 月 9 日 (木)、10 日 (金)、12 月 26 日 (水) 29 名受講 ・トピックス研修 (0.5 日) 7 月 21 日 (土) 125 名受講 ⑨静岡県看護職員認知症対応力向上研修「―認知症ケア体制構築推進者研修―」(3 日間) 7 月 26 日 (木)・27 日 (金)・30 日 (月) 静岡県看護協会 84 名受講 ⑩病院勤務の医療従事者向け認知症対応力向上研修 (3 日間) 782 名受講 東部 平成 30 年 10 月 16 日 (火) プラサヴェルデ 251 名受講 中部 平成 30 年 9 月 25 日 (火) グランシップ 264 名受講 西部 平成 30 年 8 月 28 日 (火) アクトシティ浜松 267 名受講

(4) 看護研究	①静岡県看護協会「静岡県看護学会」の開催 平成31年2月9日(土) 275名参加 ②地区支部による「看護実践報告会」等の開催 ③第49回(平成30年度)日本看護学会学術集会－慢性期看護－の開催 9月27日(木)・28日(金) 延 4,295名参加 口演147題 示説355題
(5) 学術研究振興支援	①研究能力の育成 ・「看護研究の第一歩－研究テーマの絞込み－」(2会場) 【東部】6月30日(土) 46名受講、【中部】6月13日(水) 44名受講 ・「看護研究の基礎－研究計画書にトライ－」(2会場)(3日間) 【東部】23名受講【中部】23名受講 ・「効果的なプレゼンテーション技法」10月27日(土) 41名受講
(6) 日本看護協会インターネット配信研修	・「多死社会に求められる看取りの看護」(2日間)10月11日(木)・12日(金)105名受講 ・「災害支援ナースの第一歩－災害看護の基本的知識－」(2日間) 8月21日(火)・22日(水) 64名受講 ・「認知症高齢者の看護実践に必要な知識」(2日間3回) 380名受講
(7) 看護教育機関との連携	・看護基礎教育に係る会議の開催 3回開催

○事業項目2 看護に係る調査及び研究並びに看護制度の改善への提言に関する事業

事業細目	内 容
(1) 保健師・助産師・看護師業務に係る事業	①保健師職能委員会 11回開催 ・保健師職能集会 9月29日(土) 42名参加 ・保健師研修会 1月19日(土) 46名参加 ②助産師職能委員会 12回開催 ・助産師実践能力強化研修－周産期領域の倫理的課題－ 8月25日(土) 31名参加 ・助産師交流会 9月22日(土) 56名参加 ・助産師職能集会 2月16日(土) 45名参加 ・新人助産師研修 1月23日(水) 15名参加 ③看護師職能委員会Ⅰ(病院領域) 12回開催 ・准看護師研修会・進学説明会 6月30日(土) 67名参加 ・看護師長交流会(3会場)【東部】10月20日(土) 40名参加【西部】11月17日(土) 28名参加 【中部】12月15日(土) 56名参加 ・看護師職能Ⅰ・Ⅱ合同交流集会 2月23日(土) 99名参加 ④看護師職能委員会Ⅱ(介護・福祉関係施設・在宅等領域) 12回開催 ・地区別施設看護師研修会(3会場)163名参加【中部】10月6日(土) 46名参加 【西部】10月26日(金) 60名参加【東部】11月2日(金) 57名参加 ・看護師職能Ⅰ・Ⅱ合同交流集会(再掲) ⑤看護補助者の活用推進のための看護管理者研修 11月9日(金) 129名受講
(2) 医療安全の推進	①医療安全情報の発信 ②医療・看護安全相談 相談者29名 相談件数30件
(3) 看護制度に関する事業	①准看護師の進学支援 ・看護師2年課程(通信制)に関する情報提供 ・准看護師研修会(再掲) ・修学金制度の周知 ②看護関連政策の充実 ・静岡県への要望 ・静岡県議会への要望 ・静岡県看護連盟との連携 ③「特定行為に係る看護師の研修制度」の活用に関する周知 ④看護政策推進のための組織強化事業(日看協)参加

○事業項目3 看護職の労働環境等の改善及び就業促進に関する事業

事業細目	内 容
(1) 働き続けられる職場環境づくりの推進	①看護職の労働条件・労働環境改善 ・看護師の賃金モデル事業（日看協）12月3日（月）静岡県看護協会 36名参加 ・労務管理研修会「ヘルシーワークプレイス（健康で安全な職場）を目指して」 2月7日（木）静岡県看護協会 71名参加 ・ふじのくに医療勤務環境改善支援センターとの連携推進 ・第1回労働環境に関する研修会「一ベテラン看護職がやりがいを持って働き続けられる」 6月16日（土）静岡県看護協会 76名参加 ・第2回労働環境に関する研修会「一医療安全について学ぶ」 11月10日（土）静岡県看護協会 60名参加
(2) 看護職の確保・定着及び就業支援の推進	ナースセンター事業 「看護師等の人材確保の促進に関する法律」に基づき、静岡県より委託を受け実施している事業である。 ①ナースバンク事業 ・看護職の求職相談・医療機関等からの求人相談、求人施設訪問（36施設） ・求人・求職マッチング強化（求職者の施設見学時に就業相談員が同行：6件） ・看護職離職時等届出制度の推進と活用による就業支援（届出数986名） ・再就業移動相談：県内14カ所のハローワークにおける移動相談（相談者321名）、求人施設参加のミニ就業相談会（参加131施設）の実施 ・ナースセンター・ハローワーク連携事業による再就業支援の実施（連携356名） ・静岡県看護職員確保対策連絡協議会の開催（2回） ②潜在看護職員等再就業支援事業 ・再就業準備講習会（7回：66名参加） ・介護施設等再就業研修（3回：44名参加） ・病院・訪問看護ステーション派遣型就業研修（3名参加） ・地域でつくる協働開催型就業相談会：ナースのお仕事フェア（9会場で開催：来場者120名） ・看護技術演習（本所・東部支所・西部支所）74名参加 ・県外者へのUIJターン促進（移住フェア参加2回、県外看護大学訪問6校） ・交流会開催：子育て支援センターでの子育てママの生き生きカフェ（2回：8名参加） ③「看護の心」普及・啓発事業 ・「看護の日・週間」記念事業（来場者：335名） ・ふれあい看護体験（88名参加） ・高校生1日ナース体験（122校から1,607名参加） ・看護の出前授業：小・中・高等学校（54回） ・看護職ころざし育成セミナー（128名参加） ・看護学校等進路説明・相談会（3会場：1,156名参加） ④離職防止対策事業 ・相談機能の充実（悩み事相談：155件） ・新人看護職員向け専用電話相談窓口の設置 ・退職者（個人）調査（回収数：502名） ・再就業者フォローアップ研修（2回：67名参加） ・セカンドキャリアセミナー開催（43名参加） ・新人看護職員研修（再掲） ・新人教育に関する相談及び助言 ⑤日本看護協会主催「平成30年度看護職のキャリアと働き方支援による地域に必要な看護職確保推進モデル事業」への取組 ・富士医療圏にワーキンググループ設置（地域の課題に応じた具体策の検討・実施） ・主な事業：ナースのお仕事フェア（11月23日、来場者53名）、勤務環境に関する研修会（12月10日、80名参加） ⑥ナースセンター連絡会議（7回） ⑦ナースセンター職員研修（2回） ⑧看護職員確保のための諸会議への参画 ⑨広報活動 ・医療施設（14施設）、看護師等学校養成所訪問（12回） ・市町広報誌等への掲載 ・ナースセンターホームページとメールマガジンの活用 ・看護しずおか「ナースセンターだより」掲載（年6回） ・ナースセンターだよりプラス発行（年3回） ・看護のお仕事ガイドブック作成（県内施設の求人情報掲載） ・高校生向け広報誌「看護へGO！」発行 ・マスコミへの情報提供

○事業項目4 在宅ケアの推進及び支援に関する事業

事業細目	内 容
(1) 訪問看護ステーション・居宅介護支援事業所の運営及び地域支援	①協会立訪問看護ステーション・指定居宅介護支援事業所の運営 訪問看護実績：訪問看護利用者延数 7,400 人 訪問看護延件数 33,404 件 居宅介護支援事業実績：居宅サービス計画：1,716 件 ②地域支援 ア訪問看護ステーション清水・指定居宅介護支援事業所 訪問看護 S / T 清水 ・第 4 回介護者の会「さくらばしサロン」 11 月 15 日（木）訪問看護ステーション清水事業所内 9 名 ・第 10 回地域交流会 9 月 21 日（金）静岡市清水医師会会議室 47 名 ・第 6 回地域住民交流会 7 月 23 日（月）、24 日（火）清水船越老人福祉センター 142 名 イ訪問看護ステーション大東・指定居宅介護支援事業所 訪問看護 S / T 大東 ・第 4 回家族交流会 12 月 8 日（土）掛川市大東市民交流センター 16 名 ・老人会健康相談 6 月 5 日（火） 7 月 3 日（火） 三井防災センター 36 名 ・J A 健康フェア 11 月 23 日（金）掛川市文化会館シオーネ 77 名 ・南部大東ふくしあ保健室、南部大須賀ふくしあ保健室 大東：隔月 第 1 水 掛川市役所大東支所 月平均 3.4 人 大須賀：毎月 第 1 木 大須賀支所ロビー 月平均 5.5 人 ウ訪問看護ステーション掛川・指定居宅介護支援事業所 訪問看護 S / T 掛川 ・第 5 回スイートビーの会（遺族会） 11 月 17 日（土）掛川市東部ふくしあ 2F 会議室 遺族 23 名、協力者 1 名、スタッフ 14 名 ・かけがわ健康フェア 10 月 21 日（日） 掛川市徳育保健センター 50 名 ・ふれあい広場 10 月 21 日（日） 掛川市生涯学習センター 56 名 ・東部ふくしあ出張健康相談 4 月 4 日等計 8 回 掛川市立図書館等 153 名 ・西部ふくしあ健康相談 4 月 3 日等計 12 回 桜木ホール等 153 名 エ訪問看護ステーションいわた・指定居宅介護支援事業所 訪問看護 S / T いわた ・第 5 回いわたキッズと親の交流会 7 月 21 日（土）社会福祉法人 福浜会 あにまあと 16 名 ・いわたふれあい広場 10 月 28 日（日）I プラザ（磐田市総合健康福祉会館）284 名 ・ふくでふれあいまつり 11 月 11 日（日） 福田中央交流センター 90 名 ・南交流センターまつり 10 月 28 日（日）磐田市南交流センター 40 名 ・第 2 回いわたナース交流会 9 月 8 日（土）磐田市急患センター 2 階会議室 41 名
(2) 市、地域包括支援センター等との連携協働	①行政、看護・介護、福祉等多職種と連携した総合的支援による訪問看護サービスの提供促進 ②地域包括支援センターと訪問看護ステーションとの合同会議、研修会、医療・介護関係者の事例検討会の開催
(3) 訪問看護サービスの質向上及び人材育成	①訪問看護師養成講習会 訪問看護 e ラーニングを活用した訪問看護人材養成基礎カリキュラム 8 月 2 日（木）・29 日（水）・11 月 7 日（水）・2 月 1 日（金） 静岡県看護協会 36 名受講 集合研修 4 日間 実習 2 日間 ②看護職員管理者の相互研修 「暮らしをつなげる看護職員のための研修」（再掲） ③暮らしをつなげる看護職員のためのフォローアップ研修 10 月 30 日（火）静岡県男女共同参画センターあざれあ 175 名参加 ④訪問看護における「特定行為に係る看護師の研修制度」活用促進 訪問看護ステーションいわた 看護師 1 名参加
(4) 訪問看護関係団体との連携	①静岡県訪問看護ステーション協議会との連携 ②日本訪問看護財団との連携

○事業項目5 地域住民の健康の保持増進及び福祉の向上に関する事業

事業細目	内 容
(1) 地域看護活動の推進	① 8 地区支部の活動 ・まちの保健室：Ⅰ型、Ⅱ型（イベント併設型） ・看護教室・健康教室の開催 ・市民講演会の開催 ・いのちを大切にする授業、出前授業（ナースセンターとの共催） ・看護の日・週間記念行事の開催 5月12日（土） AM 看看連携を基盤とした地域包括ケア推進事業フォーラム 105名参加 PM まちの保健室 延べ490名参加 ・地域防災訓練への参加 ・地域行政・地域住民との連携事業 ・静岡県看護協会・訪問看護ステーション協議会連携会議 8月3日（金）静岡県看護協会 25名参加 3月7日（木）静岡県看護協会 24名参加 ② 病院・施設との看看連携・協働等 ・看看連携を基盤とした地域包括ケア推進支援モデル事業 6モデル地域参加 ・看看連携を基盤とした地域包括ケア推進事業 成果発表フォーラム 9月15日（土）アクトシティ浜松 281名参加 日本看護協会会長特別講演、28・29年度参加モデル地域実践報告
(2) 他機関、団体との連携活動	① 元気応援フェアへの参画 10月6日（土）・7日（日）ツインメッセ北館 ブース来場者延344名 まちの保健室開催 ② 県民フェスティバルへの参画 10月27日（土）静岡県男女共同参画センターあざれあ ブース来場者延306名 まちの保健室開催 ③ ふじのくにケアフェスタへの参画 9月15日（土）ツインメッセ北館 ブース来場者延33名 まちの保健室開催 ・看護職の仕事の紹介、就業相談 ④ メディメッセージ2018への参画 11月23日（金）・24日（土）アクトシティ浜松展示イベントホール ブース来場者延2,734名 健康相談・赤ちゃんだっこ・看護体験・ユニフォーム着用・看護職の仕事の紹介、就業相談
(3) ストレス緩和への支援	① 「ケアする人のケア」 各訪問看護ステーションにおける在宅でケアする人、看護・介護職員へのストレス緩和支援 ・ST清水 第4回介護者の会「さくらばサロン」（再掲） ・ST大東 家族交流会（再掲） ・ST掛川 スイートピーの会（遺族会）（再掲） ・STいわた いわたキッズと親の交流会（再掲）

○事業項目6 防災及び災害支援に関する事業

事業細目	内 容
(1) 防災対策に関する事業	①防災計画に沿った活動 ・防災会議の開催 9月11日（火）参加者37名 ・防災計画書の追加・修正 ・衛星携帯電話の保守・活用 ・備蓄品の確保 ②静岡県総合防災訓練への参画 ③地区支部における市町の防災会議への参画
(2) 災害時の看護支援活動の整備	①災害支援ナースの育成研修の実施 ・災害支援ナースの登録 409名登録 ・災害支援ナース登録者研修 8月30日（木）360名受講 ・災害看護地区研修 各地区支部にて開催 ・災害支援ナース育成研修 1月27日（日）～29日（火）58名受講 ②「災害時支援ネットワークシステム」による災害支援ナースの派遣合同訓練 11月6日～8日 48施設参加 ③災害支援ナース派遣に関するサポート体制の整備等 ④災害看護一般研修Ⅰ、Ⅱの実施 ・災害看護一般研修Ⅰ 6月29日（金）83名受講 ・災害看護一般研修Ⅱ 10月9日（火）40名受講 ⑤行政との連携 ⑥災害支援看護マニュアル改訂
(3) 日本災害看護学会	①日本災害看護学会組織委員会運営への支援 ②日本災害看護学会第20回年次大会への協力 （平成30年8月10日～11日 兵庫県で開催）

○事業項目7 公益目的事業 その他・本会の目的を達成するために必要な事業
・公益目的事業

事業細目	内 容
(1) 広報	①広報委員会活動 ・「看護しずおか」年6回発行 ・モニター会議の開催 ・公式ホームページの充実 ・看護関連情報及び看護協会事業活動の更新 ②県民及び他機関・他団体への広報強化 ・マスコミを通じた広報活動 ・看護協会パンフレットの作成・普及 ③看護の心普及・啓発等（再掲） ・看護の日・週間記念行事（再掲） ・看護の出前授業（再掲） ・「看護職の心に残る看護エピソード」集発行 委員会4回 平成31年3月 7,000部発行
(2) 施設の貸与	看護に関する研修会等を行う関係団体への研修室・会議室の貸出

・収益事業等会計

(1) 会員・役員支援	①会員の福利厚生 ・各種表彰・受章候補者の推薦 ア 叙勲 平成30年春 瑞宝双光章 岡田美智子 平成30年秋 瑞宝単光章 鈴木千春 イ 平成30年度日本看護協会会長表彰 牧田まり子 大石千里 太田優子 後藤祐貴子 児玉美鈴 ウ 平成30年度静岡県看護協会会長表彰 望月律子 神谷瀧子 沼倉町枝 近藤ふさえ ・慶弔見舞 ・災害見舞 ②役員・委員の損害保険対応 ・日本看護協会賠償損害責任保険の紹介
(2) 看護研究費助成	①看護研究費助成事業 ②看護職員海外研究視察奨励助成事業

(1) 協会組織の強化

①公益社団法人としての組織整備

・諸規定の整備

<平成 30 年 6 月 1 日施行> 理事報酬及び退任報償金支給等規程 監事報酬規程
非常勤等職員就業及び給与規程 訪問看護ステーション非常勤職員就業及び給与規程

<平成 30 年 7 月 18 日施行> 会計経理規則

<平成 31 年 4 月 1 日施行> 地区支部運営規則 会計経理規則・施行細則
給与規程・施行細則 非常勤等職員就業及び給与規程 訪問看護ステーション非常勤職員就業及び給与規程

②会員数の増加促進

・看護政策推進のための組織強化事業（日看協）参加（再掲）

・協会のしおり等の送付 ・看護学校行事等への出席

・退職会員への加入継続の奨励

○会員の内訳と前年比較

		保健師	助産師	看護師	准看護師	総 数
就業者数	H28	1,626	952	31,000	6,522	40,100
	H26	1,599	952	29,174	6,918	38,643
会員数	H30	548	806	18,982	793	21,129
	H29	539	767	18,204	839	20,349
入会率	H30	33.7%	84.6%	61.2%	12.1%	52.6%
	H29	33.1%	80.5%	58.7%	12.8%	50.7%

※就業者数は平成 28 年 12 月 31 日調査（静岡県医療従事者調査による）

③新入会員研修会 6 回開催 参加者 合計 665 名

④地区支部会員交流会

⑤地区支部との支援と連携強化

⑥活動拠点の整備・充実

(2) 円滑な組織運営

①運営に関する会議

・定時総会 6 月 28 日（木）グランシップ 中ホール大地
参加者 415 名 委任状 15,464 名 計 15,879 名

・理事会 5 回開催

・常任理事会 12 回開催

・医療・福祉施設等看護代表者会議

第 1 回 5 月 24 日（木）静岡県看護協会 参加者 142 名

第 2 回 1 月 16 日（水）静岡県看護協会 参加者 87 名
1 月 18 日（金）プラサヴェルデ 参加者 51 名

・委員長・地区支部長合同会議

第 1 回 10 月 10 日（水）参加者 26 名

第 2 回 12 月 11 日（火）参加者 25 名

・地区支部長連絡会議 2 回

第 1 回 5 月 22 日（火）参加者 15 名

第 2 回 12 月 18 日（火）参加者 14 名

・推薦委員会 10 回 ・特別委員会 年 6 回～12 回程度

・総会運営会議 6 月 19 日（火）

・選挙管理委員会 2 回

・地区支部会議 1 回

②役員の資質向上

・役員委員研修会 7 月 23 日（月） 参加者 178 名

③日本看護協会との連携

・通常総会（平成 30 年 6 月 12 日（火）～13 日（水））

・理事会 年 5 回以上

・地区別法人会員会

・地区別職能委員長会

・看護労働担当者会議

・教育担当者会議

・ナースセンター事業担当者会議

・日本看護学会運営会議

・訪問看護連絡協議会全国会議

・医療安全推進会議

・代議員研修会

・全国職能委員長会

・地区別事務担当者会議

・新会員情報管理体制担当者会議

・災害看護担当者会議

・ナースセンター相談員研修

・広報担当役員会議

・全国准看護師制度担当役員会議

・政策責任者会議

(3) 会員サービスの充実	①看護協会ホームページの活用推進と相談への対応 ②図書室の管理・運営 ③ナースシップ定着への支援 ・新規・継続申し込みの受付 ・会員入会手続きに関する案内と対応
(4) 渉外活動	①関連機関・関係団体との連携 ・会議への参加 ・後援、推薦、協賛依頼への協力
(5) 施設管理・運営	①看護協会会館の維持管理 ②施設設備の整備・保守・管理 ③備品の管理 ④図書室の充実

議案第4号

平成30年度 決算書(案)

貸借対照表

平成31年3月31日現在

(単位:円)

科 目	平成30年度	平成29年度	増減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	268,214,741	234,842,747	33,371,994
未収金	86,964,844	98,313,311	△11,348,467
前払金	3,964,256	2,748,612	1,215,644
立替金	14,900	26,940	△12,040
流動資産合計	359,158,741	335,931,610	23,227,131
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
土地	300,000,000	300,000,000	0
建物	344,345,153	352,888,520	△8,543,367
投資有価証券	117,420,136	117,422,063	△1,927
定期預金	25,000,000	25,000,000	0
基本財産合計	786,765,289	795,310,583	△8,545,294
(2) 特定資産			
退職給付引当資産	93,980,400	87,699,700	6,280,700
役員退職慰労引当資産	3,987,500	2,512,500	1,475,000
看護会館再取得積立資産	356,559,168	312,293,659	44,265,509
減価償却引当資産	70,482,778	70,482,778	0
看護会館修繕積立資産	21,500,000	21,500,000	0
会館維持管理引当資産	10,020,000	10,020,000	0
看護会館建設資金引当資産	34,075,211	34,075,211	0
訪問看護事業運営積立資産	219,806,562	219,819,916	△13,354
什器備品	35,354	70,918	△35,564
特定資産合計	810,446,973	758,474,682	51,972,291
(3) その他の固定資産			
看護師等修学貸与資産	14,910,000	14,910,000	0
准看護師進学修学貸与資産	7,825,000	7,825,000	0
リース資産	73,830,424	55,356,868	18,473,556
什器備品	1,818,176	2,351,186	△533,010
建物付属設備	1,576,958	986,839	590,119
構築物	1,670,334	1,716,334	△46,000
ソフトウェア	252,448	340,179	△87,731
電話加入権	1,001,114	1,001,114	0
敷金	1,296,315	1,296,315	0
保証金	240,000	240,000	0
その他固定資産合計	104,420,769	86,023,835	18,396,934
固定資産合計	1,701,633,031	1,639,809,100	61,823,931
資産の部合計	2,060,791,772	1,975,740,710	85,051,062
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	32,220,616	18,669,567	13,551,049

科 目	平成30年度	平成29年度	増減
前受金	97,986,000	95,029,120	2,956,880
預り金	10,469,519	4,181,076	6,288,443
賞与引当金	17,022,209	16,705,473	316,736
役員賞与引当金	1,708,333	1,708,333	0
流動負債合計	159,406,677	136,293,569	23,113,108
2. 固定負債			
リース債務	73,830,424	55,356,868	18,473,556
退職給付引当金	93,980,400	87,699,700	6,280,700
役員退職慰労引当金	3,987,500	2,512,500	1,475,000
固定負債合計	171,798,324	145,569,068	26,229,256
負債の部合計	331,205,001	281,862,637	49,342,364
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
地方公共団体補助金	100,017,626	100,035,356	△17,730
寄付金	680,211,592	688,754,959	△8,543,367
指定正味財産合計	780,229,218	788,790,315	△8,561,097
(うち基本財産への充当額)	(644,345,153)	(652,888,520)	(△8,543,367)
(うち特定資産への充当額)	(135,884,065)	(135,901,795)	(△17,730)
2. 一般正味財産	949,357,553	905,087,758	44,269,795
(うち基本財産への充当額)	(142,420,136)	(142,422,063)	(△1,927)
(うち特定資産への充当額)	(576,595,008)	(532,360,687)	(44,234,321)
正味財産の部合計	1,729,586,771	1,693,878,073	35,708,698
負債及び正味財産合計	2,060,791,772	1,975,740,710	85,051,062

正味財産増減計算書

(単位:円)

平成30年4月1日から平成31年3月31日まで

科 目	3 0 年 度	2 9 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
1. 基本財産運用益	398,885	399,922	△ 1,037
基本財産受取利息	398,885	399,922	△ 1,037
2. 特定資産運用益	1,941,070	1,801,571	139,499
特定資産受取利息	1,941,070	1,801,571	139,499
3. 特定資産費	124,077,000	119,824,000	4,253,000
受取人会金	18,642,000	18,109,000	533,000
正会員受取会費	105,435,000	101,715,000	3,720,000
4. 医療保険収益	136,550,446	123,236,107	13,314,339
基本療養費	63,437,166	59,053,610	4,383,556
管理療養費	62,261,100	53,825,367	8,435,733
情報提供療養費	2,371,500	2,184,150	187,350
ターミナル療養費	975,000	900,000	75,000
交通費負担金	5,423,500	5,043,500	380,000
実費訪問料	1,854,100	1,996,200	△ 142,100
A L S 等患者利用料	228,080	233,280	△ 5,200
5. 介護保険収益	228,614,543	217,115,419	11,499,124
居宅訪問看護収益	210,125,939	197,329,763	12,796,176
介護予防訪問看護収益	18,485,633	19,690,908	△ 1,205,275
介護実費訪問料収益	2,971	94,748	△ 91,777
6. 居宅介護支援収益	21,286,551	18,669,891	2,616,660
居宅サービス計画収益	21,286,551	18,669,891	2,616,660
7. 受講料収益	44,173,522	27,416,700	16,756,822
受取受講料	42,882,222	26,816,700	16,065,522
受取資料代	1,291,300	600,000	691,300
8. 受取委託金等	131,748,011	128,966,401	2,781,610
静岡県等受取助成金	859,000	730,000	129,000
静岡県等受取委託金	111,656,000	111,167,204	488,796
日看協受取助成金等	10,134,090	9,016,520	1,118,170
日看協受取委託金等	3,622,402	3,395,558	226,844
医療連携業務委託収益	5,458,189	4,639,389	818,800
受取補助金振替額	17,730	17,730	0
9. 受取寄付金	9,543,367	9,543,367	0
受取寄付金	1,000,000	1,000,000	0
受取寄付金振替額	8,543,367	8,543,367	0
10. 雑収益	4,225,259	2,059,813	2,165,446
会館使用料	234,954	750,600	△ 515,646
受取利息	3,776	3,635	141
受取図書販売手数料	13,608	9,720	3,888
雑収益	3,972,921	1,295,858	2,677,063
経常収益計	702,558,654	649,033,191	53,525,463

科 目	3 0 年 度	2 9 年 度	増 減
(2) 経常費用			
1. 事業費	606,888,130	582,666,886	44,221,244
役員報酬	12,784,862	10,351,876	2,432,986
給料手当	204,792,152	187,677,057	17,115,095
退職給付費用	128,219,182	120,728,042	7,491,140
役員退職慰労引当金繰入額	12,384,490	12,254,340	130,150
福利厚生費	955,000	595,000	360,000
賞与引当金繰入額	55,294,039	49,938,415	5,355,624
賞与引当金繰入額	16,434,610	15,874,075	560,535
役員賞与引当金繰入額	1,059,166	1,059,166	0
会議費	1,816,319	1,318,100	498,219
旅費交通費	17,054,522	16,771,603	282,919
通信運搬費	11,536,350	11,263,488	272,862
減価償却費	26,866,457	26,402,879	463,578
消耗品費	849,805	858,168	△ 8,363
消耗品費	12,456,547	10,730,125	1,726,422
修繕費	441,953	376,592	65,361
印刷製本費	7,363,292	7,668,399	△ 305,107
燃料費	2,854,499	2,459,304	395,195
光熱水料費	2,779,377	3,216,425	△ 437,048
賃借料	17,622,963	13,744,209	3,878,754
保険料	2,934,751	2,852,031	82,720
諸謝金	23,876,534	24,164,491	△ 287,957
租税公課	9,558,120	9,149,451	408,669
支払負担金	19,390,582	18,791,270	599,312
支払助成金	1,961,355	1,435,540	525,815
委託費	15,432,393	12,823,680	2,608,713
雑費	168,810	163,160	5,650
2. 管理費	51,400,729	54,511,111	△ 3,110,382
役員報酬	9,741,165	13,165,270	△ 3,424,105
給料手当	10,030,645	10,140,160	△ 109,515
臨時雇賃金	0	0	0
退職給付費用	521,210	551,960	△ 30,750
役員退職慰労引当金繰入額	520,000	490,000	90,000
福利厚生費	3,330,165	3,113,246	216,919
賞与引当金繰入額	587,599	831,398	△ 243,799
役員賞与引当金繰入額	649,167	649,167	0
会議費	564,020	581,140	△ 17,120
旅費交通費	2,394,120	2,253,418	140,702
通信運搬費	1,609,873	923,921	685,952
減価償却費	2,473,415	2,230,948	242,467
消耗品費	137,916	130,680	7,236
消耗品費	1,104,129	551,825	552,304
修繕費	447,366	1,349,097	△ 901,731
印刷製本費	1,325,446	813,026	512,420
燃料費	0	0	0
光熱水料費	1,086,566	497,257	589,309
賃借料	1,142,271	1,393,780	△ 251,509
保険料	636,223	647,333	△ 11,110
諸謝金	2,220,465	2,461,181	△ 240,716
租税公課	5,107,930	4,982,499	125,431
支払負担金	3,920,955	5,094,236	△ 1,173,281
支払助成金	0	0	0
委託費	1,790,083	1,709,569	80,514
雑費	60,000	10,000	50,000
経常費用計	658,288,859	617,177,997	41,110,862
当期経常増減額	44,269,795	31,855,194	12,414,601

科 目	3 0 年 度	2 9 年 度	増 減
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
固定資産除却損	0	0	0
固定資産売却損	0	0	0
リース資産廃棄損	0	0	0
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
他会計振替額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	44,269,795	31,855,194	12,414,601
一般正味財産期首残高	905,087,758	873,232,564	31,855,194
一般正味財産期末残高	949,357,553	905,087,758	44,269,795
II 指定正味財産増減の部			
特定資産受取利息	193,600	193,600	0
受取補助金等	0	0	0
一般正味財産への振替額	8,754,697	8,754,697	0
当期指定正味財産増減額	△ 8,561,097	△ 8,561,097	0
指定正味財産期首残高	788,790,315	797,351,412	△ 8,561,097
指定正味財産期末残高	780,229,218	788,790,315	△ 8,561,097
III 正味財産期末残高	1,729,586,771	1,693,878,073	35,708,698

財 産 目 録
平成31年3月31日現在

(単位:円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)			
現金	現金手許有高	運転資金として (事務局、ステーション)	104,776
普通預金	スルガ銀行静岡支店	運転資金として (事務局、ステーション)	35,524,817
	スルガ銀行清水高橋支店	運転資金として (地区支部)	63,566
	スルガ銀行熱海駅支店	運転資金として (地区支部)	117,333
	スルガ銀行長泉支店	運転資金として (地区支部)	17,070
	静岡銀行本店営業部	運転資金として (事務局)	135,804
	静岡銀行駅南支店	運転資金として (事務局、ステーション、地区支部)	209,697,321
	静岡銀行清水中央支店	運転資金として (ステーション)	76,410
	静岡銀行大東支店	運転資金として (ステーション)	1,213,592
	静岡銀行掛川東支店	運転資金として (ステーション)	382,148
	静岡銀行見付支店	運転資金として (ステーション)	617,113
	静岡銀行島田支店	運転資金として (地区支部)	88,707
	静岡銀行御前崎中央支店	運転資金として (地区支部)	61,663
	三島信用金庫東伊豆支店	運転資金として (地区支部)	60,485
	清水銀行富士川支店	運転資金として (地区支部)	31,810
郵便振替口座	ゆうちょ銀行名古屋貯金事務センター	運転資金として (事務局)	22,126
定期預金	静岡銀行駅南支店	運転資金として (ステーション)	20,000,000
未収金		医療保険収入、介護保険収入、委託金他	86,964,844
前払金		4月分家賃、会館利用料、年間図書購読料他	3,964,256
立替金		日看協会出張旅費	14,900
		流動資産合計	359,158,741
(固定資産)			
基本財産			
土地	駿河区南町14番25号 共有持分3579.91㎡の内100万分の57,214	共用財産であるため、使用面積の割合により下記のとおり按分している 82%(期末帳簿価額246,000,000円)は公益目的保有財産として使用している 18%(期末帳簿価額54,000,000円)は法人管理活動の用に供する財産として使用している	300,000,000
建物	3階部分専有面積1436.72㎡	共用財産であるため、使用面積の割合により、下記のとおり按分している。 82%(期末帳簿価額282,363,025円)は公益目的保有財産として使用している 18%(期末帳簿価額61,982,128円)は法人管理活動の用に供する財産として使用している	344,345,153
投資有価証券	利付国債・県公債等 日興証券他	運用益を管理業務の財源として使用している	117,420,136
定期預金	静岡銀行駅南支店	運用益を管理業務の財源として使用している	25,000,000
退職給付引当資産	定期預金・普通預金 静岡銀行	職員に対する退職金の支払いに備えたもの	93,980,400
役員退職慰労引当資産	普通預金 静岡銀行	役員に対する退職慰労金の支払いに備えたもの	3,987,500
看護会館再取得積立資産	県公債・定期預金・普通預金 スルガ銀行他	資産取得資金であり看護会館再取得のために備えたもの	356,559,168
減価償却引当資産	定期預金 静岡銀行	看護会館再取得のために備えたもの	70,482,778
会館維持管理引当資産	県公債・普通預金 スルガ銀行	看護会館再取得のために備えたもの	10,020,000
看護会館建設資金引当資産	市債・定期預金 静岡銀行	看護会館再取得のために備えたもの	34,075,211
看護会館修繕積立資産	定期預金 静岡銀行	看護会館の修繕・改修等に備えたもの	21,500,000
訪問看護事業運営積立資産	利付国債・県公債・定期預金 静岡銀行他	訪問看護事業の運営に備えたもの	219,806,562
什器備品	衛星携帯電話080-2646-7621	公益目的保有財産であり、公益目的事業の用に供している	35,354
その他固定資産			
看護師等修学貸与資産	普通預金 静岡銀行、スルガ銀行 事業貸付金	公益目的保有財産であり、看護職の就業促進の用に供している(預金12,370,000円、貸付金2,540,000円)	14,910,000
准看護師進学修学貸与資産	普通預金 静岡銀行、スルガ銀行 事業貸付金	共益事業—准看護師に対する進学支援事業の用に供している(預金6,153,600円、貸付金1,671,400円)	7,825,000
リース資産	事務機器他	管理運営の用に供している	2,040,552
什器備品	研修システム、公用車他	公益目的保有財産であり、公益目的事業の用に供している	71,789,872
	応接セット、書庫他	管理運営の用に供している	639,028
	研修室備品、訪問看護ST事務機器他	公益目的保有財産であり、公益目的事業の用に供している	1,179,148
建物附属設備	訪問看護ST掛川の空調設備他一式他	公益目的保有財産であり、公益目的事業の用に供している	1,576,958
構築物	訪問看護ST大東のカーポート	公益目的保有財産であり、公益目的事業の用に供している	1,670,334
ソフトウェア	経理ソフト、給与ソフト	管理運営の用に供している	252,448
電話加入権	静岡局202-1750他10本	管理運営の用に供している	1,001,114
敷金	訪問看護ST清水、西部・志太榛原地区支部	管理運営の用に供している	1,296,315
保証金	東部地区支部	管理運営の用に供している	240,000
		固定資産合計	1,701,633,031
		資産合計	2,060,791,772
(流動負債)			
未払金		旅費謝金、給料他	32,220,616
前受金	平成31年度会費・入会金	公益目的事業及び管理運営の支出に供する会費等の前受け	97,964,000
	平成31年度受講料	公益目的事業に計上する受講料の前受け	22,000
預り金	平成30年度分社会保険料、雇用保険料 他		10,469,519
賞与引当金	平成30年度負担額		17,022,209
役員賞与引当金	〃		1,708,333
		流動負債合計	159,406,677
(固定負債)			
リース債務	日立キヤピタルNBL、静銀リース他	(法人2,040,552円、公益71,789,872円)	73,830,424
退職給付引当金	期末退職給付要支給額	職員に対する退職金の支払いに備えたもの	93,980,400
役員退職慰労引当金	〃	役員に対する退職慰労金の支払いに備えたもの	3,987,500
		固定負債合計	171,798,324
		負債合計	331,205,001
		正味財産	1,729,586,771

本会は、公益社団法人静岡県看護協会の使命を人々の人間としての尊厳を維持し、健康で幸福でありたいという普遍的なニーズに応え、人々の健康な生活の実現に貢献するため、

- － 教育と研鑽に根ざした専門性に基づき看護の質の向上を図る
- － 看護職が生涯をとおり安心して働き続けられる環境づくりを推進する
- － 人々のニーズに応えるために、地域の保健・医療・福祉活動を推進し、看護領域の開発及び展開を図ると定めている。

本会使命を達成するために、令和元年度は以下の重点事項に基づく事業を積極的に展開する。

1 地域包括ケアにおける看護提供体制の推進

(1) 円滑に地域とつなぐ連携体制の推進

- ・ 看看連携を基盤とした地域包括ケア推進支援事業
- ・ 地域包括ケアフォーラム開催

(2) 三職能連携事業

- ・ 看護をつなぐ三職能交流会の開催

(3) 病院看護職員の訪問看護ステーションへの出向事業

(4) 看護協会と訪問看護ステーション協議会の連携推進

2 少子・超高齢・多死社会に対応できる看護職の育成

(1) 看護管理者の看護政策力の強化

(2) 看護師のクリニカルリーダー活用推進

(3) 施設・在宅看護領域を担う看護職の育成

(4) 認知症に対応できる看護職の育成

(5) 特定行為研修受講者の増加に向けた広報普及活動

3 看護基礎教育制度改革の推進

(1) 看護基礎教育4年制化を考える会議の開催

(2) 准看護師の進学と資質向上への支援

(3) 看護職のあり方に関する基本的な考え方の普及

4 健康で働き続けられる職場環境改善の推進

(1) ナースセンター事業の促進

(看護職の確保・定着・再就業事業の促進)

- ・ 地域と連携した看護職確保事業
- ・ 求人施設開拓と求職者ニーズの情報提供
- ・ 離職防止事業
- ・ 施設・看護学校訪問によるナースセンター事業の周知活動

(2) 勤務環境改善推進事業の展開

- ・ ヘルシーワークプレイス(健康で安全な職場作り)への取り組み

5 地域における看護職の活動推進

(1) 行政・他団体と連携した医療救護活動体制の構築

(2) 地域で活動する看護職の力を生かした地区支部活動の構築

○事業項目1 教育等看護の質の向上に関する事業

事業細目	内 容
(1) 人材育成を促進するための継続教育	①看護実践能力の育成 (研修名) ・「<u>病院・施設・在宅 どうつなぐ認知症ケア</u>」 ・「<u>必修！がん放射線治療のケアにつながるアセスメントを明らかにする</u>」 ・「<u>おさえておきたい糖尿病看護の基礎</u>」 ・「<u>臨床推論を活かして看護力を高めよう</u>」 ・「<u>e ラーニングで学ぶ医療関連感染予防対策</u>」 ・「<u>「その人らしい人生の最終段階の実現に向けた高齢者の看取り</u>」 ・「<u>看護倫理の考え方ーみんなで考える倫理問題ー</u>」(2日間) ・「<u>入院前から始まる周手術期の看護</u>」 ・「<u>意思決定の支援ーあなたは支援者になっていますかー</u>」 ・「<u>中範囲理論を活用した根拠ある看護実践</u>」(2日間) ・「<u>生活を支える脳卒中リハビリテーション看護ー看護職の果たす役割ー</u>」 ・「<u>訪問看護師養成講習会ー訪問看護 e ラーニングを活用した訪問看護人材養成基礎カリキュラムー</u>」 ②組織的役割遂行能力の育成 (研修名) ・「<u>コンピテンシーを基盤とした看護管理ー成長する組織づくり</u>」 ・「<u>OJT トレーナー研修ー後輩育成に活かすコーチングスキル</u>」 ・「<u>「シミュレーションにおける効果的な指導を学ぶ</u>」(2日間) ・「<u>「スタッフの倫理的感性を磨く看護管理者をめざす</u>」 ・「<u>「これでつかえる「看護師のクリニカルラダー（日本看護協会版）」(3日間)</u>」 ・「<u>「最新の感染予防ー高齢者施設・在宅における感染予防対策の実践ー</u>」 ・「<u>「最新の感染予防ー感染予防リンクナースの役割ー</u>」 ・「<u>「看護リフレクシオンー経験から学び、成長、サポートできる管理者ー</u>」 ・「<u>e ラーニングで学ぶ医療安全ステップアップ研修1</u>」 ・「<u>e ラーニングで学ぶ医療安全ステップアップ研修2ーRRSを学ぶ</u>」 ・「<u>e ラーニングで学ぶ医療安全管理者養成研修</u>」(集合研修2日間あり) ・「<u>「レジリエンスの高いしなやかな組織をつくるためにー看護管理者にできること</u>」 ・「<u>看護補助者の活用推進のための看護管理者研修</u>」 ・「<u>「ヘルシーワークプレイスを目指してー看護管理者の取り組みー</u>」 ・第1回労働環境に関する研修会「<u>「ハラスメント対応について学ぶー</u>」 ・第2回労働環境に関する研修会「<u>「ベテラン看護職がやりがいをもって働き続けられるー</u>」 ③自己教育 (研修名) ・「<u>新入会員研修</u>」 ・「<u>看護職を楽しむ「わたし」の生き方</u>」 ④特別研修 (研修名) ・トピックス研修「<u>「ビッグデータから静岡県健康度を知ろうー健康寿命延伸のために看護職に期待されることー</u>」 ・「公開講座」セカンドレベル、サードレベル
(2) 資格認定教育	①認定看護管理者教育 (研修名) ・「<u>認定看護管理者教育課程ファーストレベル（22日間）</u>」 ・「<u>認定看護管理者教育課程セカンドレベル（32日間）</u>」 ・「<u>認定看護管理者教育課程サードレベル（33日間）</u>」 ・セカンドレベルフォローアップ研修

(3) 静岡県からの受託研修	①新人看護職員研修 (研修名) ・「新人看護職員研修－多施設合同研修－(6日間)」 ・「新人看護職員指導者研修 研修責任者研修(5日間)」 ・「新人看護職員指導者研修 教育担当者研修(5日間)」 ・「新人看護職員指導者研修 実地指導者研修(5日間)」 ②静岡県専任教員養成講習会(総時間 855 時間) ③重症心身障害児(者)対応看護従事者養成研修(2日間) ④看護職員実習指導者等講習会－特定分野－(7日間) ⑤看護教員継続研修 ・中堅期(3日間) ・トピックス研修(1日間) ⑥高齢者権利擁護等推進「看護実務者研修」(2日間) ⑦看護の質向上促進研修 ⑧看護職員管理者の相互研修「暮らしをつなげる看護職員のための研修」(4日間) ⑨静岡県看護職員認知症対応力向上研修－認知症ケア体制構築推進者研修－(3日間) ⑩病院勤務の医療従事者向け認知症対応力向上研修
(4) 看護研究	①静岡県看護協会「静岡県看護学会」の開催 ②地区支部による「看護実践報告会」等の開催
(5) 学術研究振興支援	①研究能力の育成 (研修名) ・「看護研究の第一歩」 ・「看護研究の基礎－研究計画書にトライー(3日間)」 ・「効果的なプレゼンテーション技法」
(6) 日本看護協会インターネット配信研修	・「災害支援ナースの第一歩－災害看護の基本的知識－」(2日間) ・「認知症高齢者の看護実践に必要な知識」(2日間)
(7) 看護教育機関との連携	・看護基礎教育を考える会議の開催

○事業項目2 看護に係る調査及び研究並びに看護制度の改善への提言に関する事業

事業細目	内 容
(1) 保健師・助産師・看護師業務に係る事業	①保健師職能委員会 年 11 回 ・ <u>3 職能合同交流会</u> ・保健師職能研修 ・ <u>保健師助産師交流集会</u> ・保健師活動指針の普及啓発 ②助産師職能委員会 年 12 回 ・ <u>3 職能合同交流会</u> ・助産師実践能力強化研修－周産期領域の倫理的課題－ ・ <u>保健師助産師交流集会</u> ・助産師の役割や業務に関する周知・啓蒙 ③看護師職能委員会Ⅰ(病院領域) 年 12 回 ・ <u>3 職能合同交流会</u> ・准看護師研修会・進学説明会 ・中間管理者交流会 ④看護師職能委員会Ⅱ(介護・福祉関係施設・在宅等領域) 年 12 回 ・ <u>3 職能合同交流会</u> ・地区別施設看護師研修会(3会場) ⑤看護補助者の活用推進のための看護管理者研修
(2) 医療安全の推進	①医療安全情報の発信 ②医療・看護安全相談
(3) 看護制度に関する事業	①准看護師の進学と資質向上への支援 ・看護師2年課程(通信制)に関する情報提供 ・准看護師研修会(再掲) ・修学金制度の周知 ②看護関連政策の充実 ・静岡県への要望 ・静岡県議会への要望 ・静岡県看護連盟との連携 ③特定行為研修受講者の増加に向けた広報普及活動 ④看護政策推進のための組織強化事業(日看協モデル事業)参加

○事業項目3 看護職の労働環境等の改善及び就業促進に関する事業

事業細目	内 容
(1) 働き続けられる職場環境づくりの推進	①看護職の労働条件・労働環境改善 ・第1回労働環境に関する研修会「一ハラスメント対応について学ぶ」(再掲) ・第2回労働環境に関する研修会「一ベテラン看護職がやりがいを持って働き続けられる」(再掲) ・ヘルシーワークプレイス(健康で安全な職場づくり)を目指して一看護管理者の取組一(再掲) ・ふじのくに医療勤務環境改善支援センターとの連携推進
(2) 看護職の確保・定着及び就業支援の推進	①ナースバンク事業 ・看護職離職時等届出制度の推進、eナースセンター登録と活用による就業促進 ・求人施設との連携強化(求人施設訪問) ・ハローワークにおける移動相談(14カ所)・施設参加によるミニ相談会(13カ所) ・ハローワーク職員との連携強化(ハローワーク職員に対する看護業務説明会の実施) ②潜在看護職員等再就業支援事業の強化 ・再就業支援コーディネーターによる再就業支援 ・再就業準備講習会(7回) ・介護施設等再就業研修(東・中・西部各1回、計3回) ・病院・訪問看護ステーション派遣型再就業研修 ・求人・求職マッチング強化(求職者の施設見学時に就業相談員が同行) ・地域でつくる協働開催型就業相談会(ナースのお仕事フェア):10地域 ※10地域の内1地域について「地域との連携強化地域」として取り組む ・子育て支援センター等との連携による潜在看護職の掘り起こし(カフェ2カ所) ・県外看護職・看護学生などの静岡県への移住・地元就職の促進(県内外の看護大学・専門学校訪問と移住フェア、同窓会等への参加) ・基礎看護技術演習(本所、東部・西部支所の3会場で実施) ③看護職への進路選択の推進 ・看護学校等進路説明・相談会 ・看護職ころざし育成セミナー ・高校生1日ナース体験 ・高校生向け広報誌の発行 ④看護の心普及・啓発等 ・看護の日・週間(ふれあい看護体験)・看護の出前授業 ⑤離職防止対策の推進 ・相談機能の充実(悩み事相談:看護学生の就学継続・看護職の就業継続支援) (新人看護職員向け専用電話相談窓口の設置:月～金) ・施設訪問(看護管理者への説明会:ナースセンター広報とキャリアサポート等) ・新人看護職員の施設内教育指導者との連携及び相談 ・新人看護職員:離職防止に関する研修 ・再就業者フォローアップ研修(年間2回) ・セカンドキャリアセミナー(東・中・西部各1回、計3回) ⑥調査・情報提供 ・退職者(個人調査)調査 ⑦ナースセンター事業の広報 ・ナースセンター専用サイトとメールマガジンの活用 ・ナースセンターだよりプラス発行(年3回) ⑧職員の資質向上に関すること ・職員研修(年2回) ・訪問看護体験研修(対象:訪問看護体験のない就業相談員)

○事業項目4 在宅ケアの推進及び支援に関する事業

事業細目	内容
(1) 訪問看護ステーション・居宅介護支援事業所の運営及び地域支援	①協会立訪問看護ステーション・指定居宅介護支援事業所の運営 ②地域支援 ・訪問看護ステーション清水・指定居宅介護支援事業所 訪問看護 S / T 清水 第 5 回介護者の会「さくらばサロン」、第 11 回訪問看護ステーション清水 地域交流会、第 7 回地域住民交流会、健康教室 ・訪問看護ステーション大東・指定居宅介護支援事業所 訪問看護 S / T 大東 第 5 回家族交流会、J A 健康フェア、南部大東ふくしあ健康相談、南部大須賀ふくしあ健康相談、在宅での感染対策を学び、伝授できる研修会 ・訪問看護ステーション掛川・指定居宅介護支援事業所 訪問看護 S / T 掛川 第 6 回スイートピーの会（家族交流会）、かけがわ健康フェア、ふれあい広場、東部ふくしあ出張健康相談、西部ふくしあ健康相談、人生の最終段階について考える会、在宅療養に関する研修会 ・訪問看護ステーションいわた・指定居宅介護支援事業所 訪問看護 S / T いわた 第 6 回いわたキッズと親の交流会、いわたふれあい広場、ふくでふれあいまつり、南交流センターまつり、地域看護職の情報交換会、地域の看護職の質の向上の為の研修会第 3 回いわたナース交流会
(2) 市、地域包括支援センター等との連携協働	①行政、看護・介護、福祉等多職種と連携した総合的支援による訪問看護サービスの提供促進 ②地域包括支援センターと訪問看護ステーションとの合同会議、研修会、医療・介護関係者の事例検討会の開催
(3) 訪問看護サービスの質向上及び人材育成	①訪問看護師養成講習会 訪問看護 e ラーニングを活用した訪問看護人材養成基礎カリキュラム（再掲） ②看護職員管理者の相互研修 「暮らしをつなげる看護職員のための研修」（再掲） ③訪問看護における「特定行為に係る看護師の研修制度」活用促進 ④看護職員出向研修事業
(4) 訪問看護関係団体との連携	①静岡県訪問看護ステーション協議会との連携 ②日本訪問看護財団との連携

○事業項目5 地域住民の健康の保持増進及び福祉の向上に関する事業

事業細目	内容
(1) 地域看護活動の推進	① 8 地区支部の活動 ・まちの保健室：Ⅰ型、Ⅱ型（イベント併設型） ・看護教室・健康教室の開催 ・市民講演会の開催 ・いのちを大切にする授業、出前授業（ナースセンターとの共催） ・看護の日・週間記念行事の開催 ・地域防災訓練への参加 ・地域行政・地域住民との連携事業 ・静岡県看護協会・訪問看護ステーション協議会連携会議 ②病院・施設との看看連携・協働等 ・看看連携を基盤とした地域包括ケア推進支援モデル事業 ・看看連携を基盤とした地域包括ケア推進事業 成果発表フォーラム
(2) 他機関、団体との連携活動	①元気応援フェアへの参画予定 ②県民フェスティバルへの参画予定 ③ふじのくにケアフェスタへの参画予定
(3) ストレス緩和への支援	①「ケアする人のケア」 各訪問看護ステーションにおける在宅でケアする人、看護・介護職員へのストレス緩和支援 ・訪問看護ステーション清水 第 5 回介護者の会「さくらばサロン」（再掲） ・訪問看護ステーション大東 第 5 回家族交流会（再掲） ・訪問看護ステーション掛川 第 6 回スイートピーの会（家族交流会）（再掲） ・訪問看護ステーションいわた 第 6 回いわたキッズと親の交流会（再掲）

○事業項目6 防災及び災害支援に関する事業

事業細目	内 容
(1) 防災対策に関する事業	①防災計画に沿った活動 ・防災会議を年1回開催 ・防災計画書の追加・修正 ・衛星携帯電話の保守・活用 ・備蓄品の確保 ②静岡県総合防災訓練への参画 ③地区支部における市町の防災会議への参画
(2) 災害時の看護支援活動の整備	①災害支援ナースの育成研修の実施 ・災害看護地区研修の実施 ・災害支援ナース育成研修の実施 ・災害支援ナースの登録・管理 ・災害支援ナース登録者研修 ②「災害時支援ネットワークシステム」による災害支援ナースの派遣合同訓練および派遣 ③災害支援ナース派遣に関するサポート体制の整備等 ④災害看護一般研修Ⅰ、Ⅱの実施 ⑤行政・他団体と連携した医療救護活動体制の構築
(3) 日本災害看護学会	日本災害看護学会組織会員として協力

○事業項目7 その他・本会の目的を達成するために必要な事業

・公益目的事業

事業細目	内 容
(1) 広報	①広報委員会活動 ・「看護しずおか」年6回発行 ・モニター会議の開催 ・公式ホームページのリニューアル ・看護関連情報及び看護協会事業活動の更新 ②県民及び他機関・他団体への広報強化 ・マスコミを通じた広報活動 ・看護協会パンフレットの作成・普及 ③看護の心普及・啓発等（再掲） ・看護の日・週間記念行事（再掲） ・看護の出前授業（再掲）
(2) 施設の貸与	看護に関する研修会等を行う関係団体への研修室・会議室の貸出

・収益事業等会計

(1) 会員・役員支援	①会員の福利厚生 ・各種表彰・受章候補者の推薦 ・慶弔見舞 ・災害見舞 ②役員・委員の損害保険対応 ・日本看護協会賠償損害責任保険の紹介
(2) 看護研究費助成	①看護研究費助成事業 ②看護職員海外研究視察奨励助成事業

・法人会計

(1) 協会組織の強化	①公益社団法人としての組織整備 ・諸規定の整備 ・地区支部活動の推進 ②会員数の増加促進 ・看護政策推進のための組織強化事業（日看協モデル事業）参加（再掲） ・協会のしおり等の送付 ・看護学校行事等への出席 ・退職会員への加入継続の奨励 ③新入会員研修会 ④地区支部との支援と連携強化 ⑤活動拠点の整備・充実
(2) 円滑な組織運営	①運営に関する会議 ・定時総会 年 1 回 ・理事会 年 5 回 ・常任理事会 年 12 回 ・推薦委員会 年 10 回 ・特別委員会 年 6 回～ 12 回程度 ・医療・福祉施設等看護代表者会議 年 2 回 ・委員長・地区支部長合同会議 年 2 回 ・総会運営会議 年 1 回 ・選挙管理委員会 年 2 回 ・地区支部長連絡会議 年 2 回 ・地区支部会議 年 1 回 ・看護協会・訪問看護ステーション協議会連携会議 年 2 回 ②役員・委員の資質向上 ・役員委員研修会 年 1 回 ③日本看護協会との連携 ・通常総会（令和元年 6 月 6 日（木）～ 7 日（金）） ・理事会 年 5 回以上 ・代議員研修会 ・地区別法人会員会 ・全国職能委員長会 年 1 回 ・地区別職能委員長会 ・地区別事務担当者会議 ・看護労働担当者会議 ・新会員情報管理体制担当者会議 ・教育担当者会議 ・災害看護担当者会議 ・ナースセンター事業担当者会議 ・ナースセンター相談員研修 ・日本看護学会運営会議 ・広報担当役員会議 ・訪問看護連絡協議会全国会議 ・全国准看護師制度担当役員会議 ・政策責任者会議
(3) 会員サービスの充実	①看護協会ホームページの活用推進と相談への対応 ②図書室の管理・運営 ③ナースシップ定着への支援 ・新規・継続申し込みの受付 ・会員入会手続きに関する案内と対応
(4) 渉外活動	①関連機関・関係団体との連携 ・会議への参加 ・後援、推薦、協賛依頼への協力
(5) 施設管理・運営	①看護協会会館の維持管理 ②施設設備の整備・保守・管理 ③備品の管理 ④図書室の充実

報告第3号

令和元年度収支予算

4 経常収益

会員増に伴う会費収益の増や静岡県から受託予定の新規事業等に伴い、収益総額は753,676千円となり、平成30年度当初予算の720,599千円に対し、33,077千円の増を見込んだ。

<令和元年度当初収支予算書概要>

1 予算区分

本会の予算は、「公益目的事業会計」、「収益事業等会計」、「法人会計」の3区分で構成しており、その概要は次のとおりである。

(1) 公益目的事業会計

定款第4条に規定された公益事業を実施するための予算で、7つの事業とそれらに共通する「公益共通」事業の8つに区分されている。

(2) 収益事業等会計

看護研究費助成金や会長表彰、慶弔費等会員に対する支援事業を実施するための予算である。

(3) 法人会計

建物の管理費、総会や理事会を開催する経費等法人を運営・管理するための予算である。

2 財務3基準の充足状況

本予算は、公益社団法人の要件として求められる次の財務3基準を満たしている。

- (1) 公益目的事業に係る収入が事業に要する費用を超えないこと（収支相償の原則）⇒3の表参照
- (2) 公益目的事業比率が事業費全体の50%以上であること（50%ルール）⇒3の表参照
- (3) 使途を定めない財産が公益目的事業費用の1年分を超えないこと（遊休財産保有制限）（※）

※ 遊休財産額＝資産－負債－（控除対象財産－対応負債）

- ・平成30年度末実績 遊休財産：約4.5億円 < 公益目的事業費用：約5.6億円
- ・令和元度末見込 遊休財産：約4.5億円程度以内 < 公益目的事業費用：約6.9億円

3 令和元年度予算の構成

(単位：千円)

公益目的事業会計・収益事業等会計・法人会計 （単位：千円）			収益		費用		収支差額
	金額	構成比	金額	構成比			
公益目的事業会計（定款４条事業）			694,079	92.1%	696,705	92.1%	△ 2,626
事業１	教育等看護の質の向上に関する事業		86,543	11.5%	93,032	12.3%	△ 6,489
事業２	看護に係る調査及び研究並びに看護制度の改善への提言に関する事業		10	0.0%	3,967	0.5%	△ 3,957
事業３	看護職の労働環境の改善及び就業促進に関する事業		81,452	10.8%	82,328	10.9%	△ 876
事業４	在宅ケアの推進及び支援に関する事業		446,456	59.2%	423,694	56.0%	22,762
事業５	地域住民の健康の保持増進及び福祉の向上に関する事業		730	0.1%	22,314	3.0%	△ 21,584
事業６	防災及び災害支援に関する事業		0	0%	3,911	0.5%	△ 3,911
事業７	その他本会の目的を達するために必要な事業		2,072	0.3%	12,829	1.7%	△ 10,757
公益目的事業会計共通経費			76,816	10.2%	54,630	7.2%	22,186
収益事業等会計			1,030	0.1%	1,030	0.1%	0
法人会計			58,567	7.8%	58,567	7.8%	0
合計			753,676	100%	756,302	100%	△ 2,626

<収益の内訳>

(単位：千円)

区 分	2019年度	30年度	増 減	説 明
財産・資産の運用収益				
	1,426	1,871	△445	
基本財産受取利息	339	339	0	
特定資産受取利息	1,087	1,532	△445	看護会館市取得積立金等特定の使途に充てるため保有する資産
会費収益				
	123,200	120,700	2,500	
受取人会金	18,200	18,200	0	入会者数を過去3年の平均の1,400人と想定
受取会費	105,000	102,500	2,500	会員数を過去3年の平均伸び率を乗じ、21,000人と想定
訪問看護ステーション関係				
	439,755	416,234	23,521	
医療保険収益	151,476	137,732	13,744	医療的ケアが必要な利用者の増加
介護保険収益	259,698	249,575	10,123	介護保険適用利用者の増加
居宅介護支援収益	28,581	28,927	△346	
受取受講料等	39,583	40,818	△1,235	日本看護学会慢性期看護学術集会終了による減 認定看護管理者教育課程サードレベル開講に伴う増
受取補助金等	139,466	130,716	8,750	静岡県委託事業の新規事業による増
その他	10,246	10,260	△14	
合 計	753,676	720,599	33,077	

5 経常費用

公益目的事業等会計は、静岡県からの受託予定の新規事業等に伴い、事業費総額は696,705千円となり、平成30年度当初予算の673,189千円に対し、23,516千円の増を見込んだ。

また、収益事業等会計の事業費は、平成30年度に対し192千円増の1,030千円を計上した。

法人会計の管理費は、58,567千円となり、平成30年度当初予算の60,382千円に対し、1,815千円の減を見込んだ。

この結果、法人全体の事業費は756,302千円となり、平成30年度当初予算の734,409千円に対し、21,893千円の増額計上となった。

<事業費の内訳>

(単位：千円)

事業区分	2019年度	30年度	増減	説明
公益目的事業会計				
定款事業 1				
教育研修推進事業	23,447	26,441	△2,994	人件費等教育研修部共通経費
静岡県委託事業 (教育研修関係)	38,042	28,619	9,423	<主な取組内容> 専任教員養成講習会(新規、30年度は準備) 看護職員実習指導者等講習会(2019年は2020年の準備)
認定看護管理者教育課程	17,440	13,656	3,784	フアースト・セカンドレベル・サードレベル研修実施
障害者リハビリテーション 認定看護師教育課程	0	77	△77	
教育研修事業	9,632	9,360	272	一般研修等開催経費
学術研究推進委員会事業	2,532	15,980	△13,448	看護学会、研究能力の育成研修経費
地区支部事業	1,359	1,271	88	各地区支部実施研修会、実践報告会等経費
教育委員会	580	517	63	
定款事業 2				
保健師職能委員会	722	682	40	
助産師職能委員会	872	861	11	
看護師職能委員会Ⅰ	1,251	1,226	25	
看護師職能委員会Ⅱ	1,122	1,046	76	
働き続けられる職場づくり推進会	0	239	△239	
定款事業 3				
ナースセンター事業 (静岡県委託事業)	81,452	81,547	△95	
ワークライフバランス推進事業	162	331	△169	
働き続けられる職場づくり推進会	714	702	12	
定款事業 4				
訪問看護ステーション事業	418,494	395,764	22,730	
訪問看護ステーション清水	78,777	75,878	2,899	
訪問看護ステーション大東	93,018	92,326	692	
訪問看護ステーション掛川	109,509	107,470	2,039	
訪問看護ステーションいわた	137,190	120,090	17,100	人員の増
看護職員出向事業	5,200	0	5,200	静岡県受託事業(新規)による増

定款事業 5				
地区支部事務所運営費	10,030	9,416	614	
地区支部支援事業	1,151	437	714	
東部地区支部	2,980	2,938	42	
志太・榛原地区支部	2,319	2,270	49	
中東遠地区支部	964	964	0	
西部地区支部	2,486	2,677	△191	
静岡支部事務所	130	130		
地区支部活動費(他定款事業分除く)	8,359	7,133	1,226	
賀茂地区支部	455	492	△37	
熱海・伊東地区支部	513	496	17	
東部地区支部	1,189	938	251	
富士地区支部	1,191	1,045	146	
静岡支部事務所	1,177	1,023	154	
志太・榛原地区支部	1,590	1,258	332	
中東遠地区支部	975	823	152	
西部地区支部	1,269	1,058	211	
事業部事業(元気応援フェア等)	3,925	4,512	△587	
定款事業 6				
災害看護対策委員会	1,168	1,511	△343	30年度はマニュアル冊子更新
災害支援地区研修等	2,019	1,955	64	
防災会議等	724	723	1	
定款事業 7				
看護の日記念事業等	2,170	3,065	△895	
広報委員会運営、看護しずおか発行等	10,659	5,802	4,857	県協会ホームページリニューアル(スマートフォン対応)看護しずおか総会特集ページ追加
共通(公益各事業共通経費)	54,630	60,753	192	
収益事業等会計				
看護研究費助成金事業	400	400	0	
会長表彰経費及び会員への慶弔費	630	438	192	
法人会計(法人運営・管理に要する経費)	58,567	60,382	△1,815	
経常費用計	756,302	734,409	21,893	

令和元年度収支予算書

1 全体

単位：千円

科 目	2019 年度	30 年度	増減	備 考
I 一般正味財産増減の部				
1 経常増減の部				
(1) 経常収益				
基本財産運用益				
基本財産受取利息	339	339	0	
特定資産運用益				
特定資産受取利息	1,087	1,532	△ 445	
会費収益				
受取入会金	18,200	18,200	0	1,400 人を見込む
正会員受取会費	105,000	102,500	2,500	21,000 人を見込む
事業収益				
医療保険収益				
基本療養費	71,847	66,117	5,730	医療的ケアが必要な利用者増に伴う増
管理療養費	68,688	60,862	7,826	医療的ケアが必要な利用者増に伴う増
情報提供療養費	2,376	3,042	△ 666	
ターミナル療養費	1,050	840	210	
交通費負担金	6,162	5,674	488	
実費訪問料	1,194	1,038	156	
ALS 患者利用料	159	159	0	
介護保険収益				
居宅訪問看護収益	238,707	227,728	10,979	介護保険適用利用者増に伴う増
介護予防訪問看護収益	20,991	21,847	△ 856	
居宅介護支援収益				
居宅サービス計画収益	28,581	28,927	△ 346	
要介護認定調査収益				
受取受講料	38,943	40,334	△ 1,391	日本看護学会終了に伴う減、認定看護管理者サードレベル開講に伴う増
受取資料代	640	484	156	
受取補助金等				
静岡県等受取助成金	730	830	△ 100	
静岡県等受取委託金	121,266	112,083	9,183	看護職員出向事業新規分、専任教員養成講座開催に伴う増
日看協受取助成金等	9,028	9,390	△ 362	
日看協受取委託金等	3,030	3,030	0	
医療連携業務委託収益	5,412	5,383	29	
受取寄付金	1,000	1,000	0	
受取寄付金振替額	8,543	8,543	0	
雑収益				
衛生材料等負担金収益	0	0	0	
会館使用料	200	200	0	
受取利息	34	34	0	
雑収益	469	483	△ 14	
経常収益計	753,676	720,599	33,077	
(2) 経常費用				
事業費				
役員報酬	10,388	10,388	0	常勤理事等報酬の公益事業分
給料手当	222,352	213,568	8,784	事業担当職員給料
賃金	151,414	147,983	3,431	同非常勤職員給料
退職給付費用	13,282	12,103	1,179	退職手当引当資産積立額
役員退職慰労引当金繰入額	1,275	1,275	0	役員退職慰労引当資産積立額
役員賞与引当金繰入額	1,060	1,060	0	役員 6 月賞与前年度 4 か月分を積立
賞与引当金繰入額	18,026	17,127	899	職員 6 月賞与 4 か月分を積立
福利厚生費	60,811	60,762	49	健康保険、年金等社会保険料
会議費	1,791	1,795	△ 4	研修講師昼食代他
旅費交通費	22,711	23,310	△ 599	研修講師旅費他
通信運搬費	14,572	13,731	841	電話料、宅急便等郵送運搬費
減価償却費	24,406	25,214	△ 808	建物、什器備品等減価償却費公益事業分
消耗備品費	1,361	1,077	284	研修教育器材等
消耗品費	14,957	15,937	△ 980	事務用消耗品等
修繕費	2,450	2,450	0	研修室壁紙等補修
印刷製本費	11,634	9,724	1,910	看護しずおか他
燃料費	3,516	3,060	456	訪看 ST 公用車ガソリン代
光熱水料費	2,880	2,940	△ 60	会館、地区事務所、訪看 ST 事務所
賃借料	31,474	28,848	2,626	訪看 ST 公用車、PC 等賃借料
保険料	4,289	4,250	39	建物火災保険、役員賠償保険他
諸謝金	31,366	27,275	4,091	専任教員養成講習会開講に伴う増等
租税公課	11,352	11,502	△ 150	固定資産税、消費税の公益事業分
支払負担金	19,123	17,140	1,983	管理組合負担金公益事業分他
支払助成金	4,200	4,200	0	看護研究助成金（共益事業）他
委託費	16,387	16,643	△ 256	PC 保守、清掃委託料公益事業分
雑費	658	665	△ 7	
事業費計	697,735	674,027	23,708	

科 目	2019 年度	30 年度	増減	備 考
管理費				
役員報酬	12,475	11,683	792	常勤役員報酬法人分、非常勤理事報酬
給料手当	9,450	10,370	△ 920	総務部職員の法人会計分
賃金	225	225	0	総務部臨時職員の法人会計分
退職給付費用	551	523	28	退職手当引当資産積立額
役員退職慰労引当金繰入額	530	700	△ 170	役員退職慰労引当資産積立額
役員賞与引当金繰入額	650	650	0	役員 6 月賞与前年度 4 か月分を積立
賞与引当金繰入額	891	991	△ 100	職員 6 月賞与 4 か月分を積立
福利厚生費	3,200	3,250	△ 50	健康保険、年金等社会保険料
会議費	645	678	△ 33	総会、理事会等開催経費他
旅費交通費	3,996	3,902	94	総会、理事会等開催経費他
通信運搬費	2,446	2,316	130	総会、理事会等開催経費他
減価償却費	2,452	2,452	0	建物減価償却法人会計分他
消耗備品費	350	371	△ 21	事務所用備品
消耗品費	1,441	1,644	△ 203	総会、理事会等開催経費他
修繕費	800	800	0	会館建物修繕費
印刷製本費	1,715	3,185	△ 1,470	総会、理事会等開催経費他
燃料費	0	0	0	
光熱水料費	547	547	0	会館電気料等法人会計分
賃借料	2,563	2,563	0	印刷機等賃借料
保険料	850	850	0	障害保険、役員賠償保険等
諸謝金	2,340	2,232	108	総会、役員研修講師謝金
租税公課	4,200	4,200	0	固定資産税、消費税の法人会計分
支払負担金	5,100	5,100	0	管理組合負担金法人会計分等
支払助成金	0	0	0	
委託費	1,100	1,100	0	P C 保守等及び会費収納委託
雑費	50	50	0	
管理費計	58,567	60,382	△ 1,815	
経常費用計	756,302	734,409	21,893	
当期経常増減額	△ 2,626	△ 13,810	11,184	
2 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
(2) 経常外費用				
当期経常外増減額				
当期一般正味財産増減額	△ 2,626	△ 13,810	11,184	

科 目	2019 年度	30 年度	増減	備 考
一般正味財産期首残高	905,087	873,233	31,854	
一般正味財産期末残高	902,461	859,423	43,038	
Ⅱ 指定正味財産増減の部				
特定資産受取利息	178	194	△ 16	
一般正味財産への振替額	8,543	8,543	0	
当期指定正味財産増減額	△ 8,365	△ 8,349	△ 16	
指定正味財産期首残高	798,818	797,351	1,467	
指定正味財産期末残高	790,453	789,002	1,451	
Ⅲ 正味財産期末残高	1,692,914	1,648,425	44,489	

資金調達及び設備投資の見込を記載した書類

(1) 資金調達の見込について

借入入れの予定		□ あり	■ なし
事業番号	借入先	金額	

(2) 設備投資の見込について

設備投資の予定		□ あり	■ なし
事業番号	設備投資の内容	支出又は収入の予定額	資金調達方法又は取得資金の使途

《2019年度 教育研修》

教育計画は、2019年度の静岡県看護協会重点事項に沿って計画しています。

今回は、新規研修を紹介をします。

詳細は「教育計画」のリーフレットやホームページをご覧ください。

1 看護管理者の看護政策力の強化

研修名 レジリエンスの高いしなやかな組織をつくるために—看護管理者にできること—

内 容：人材育成・働き方改革など様々な変革がある中で、看護管理者としてどうリーダーシップを発揮したらよいかを明らかにする。

研修名 スタッフの倫理的感性を磨く看護管理者をめざす

内 容：看護管理者として守るべき倫理を踏まえ、看護実践の中で起こっている倫理的問題への対応方法を学ぶ。

2 看護師のクリニカルラダー（日本看護協会版）活用の推進

研修名 これでつかえる「看護師のクリニカルラダー（日本看護協会版）」

内 容：3日間の研修を企画しています。クリニカルラダーの目的、開発経緯を学び、「看護師のクリニカルラダー（日本看護協会版）」と自施設、自部署のクリニカルラダーを対比し、教育計画の立案をする。

3 施設・在宅看護領域を担う看護職の育成

研修名 その人らしい人生の最終段階の実現に向けた高齢者の看取り

内 容：高齢者がその人らしくどのように死を迎えるのか、死までのアセスメントとPDCAサイクルの活用方法を学ぶ。

研修名 最新の感染予防—高齢者施設・在宅における感染予防対策の実践—

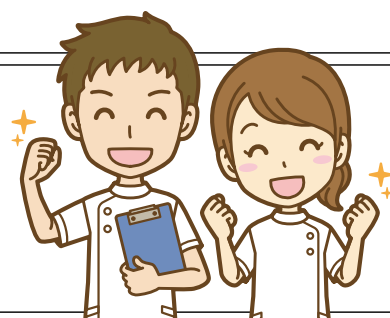
内 容：最新の感染対策を知り、生活の場を支える看護師として必要な感染対策の基本的知識を深め、患者・家族及び介護職員が実践できる方法を学ぶ。

4 認知症に対応できる看護職の育成

研修名 病院・施設・在宅 どうつなぐ認知症ケア

内 容：認知症患者の看護に必要な基礎知識・技術・基本姿勢を学び、BPSDやせん妄へのケアを学び安全な在宅療養支援につなげる。

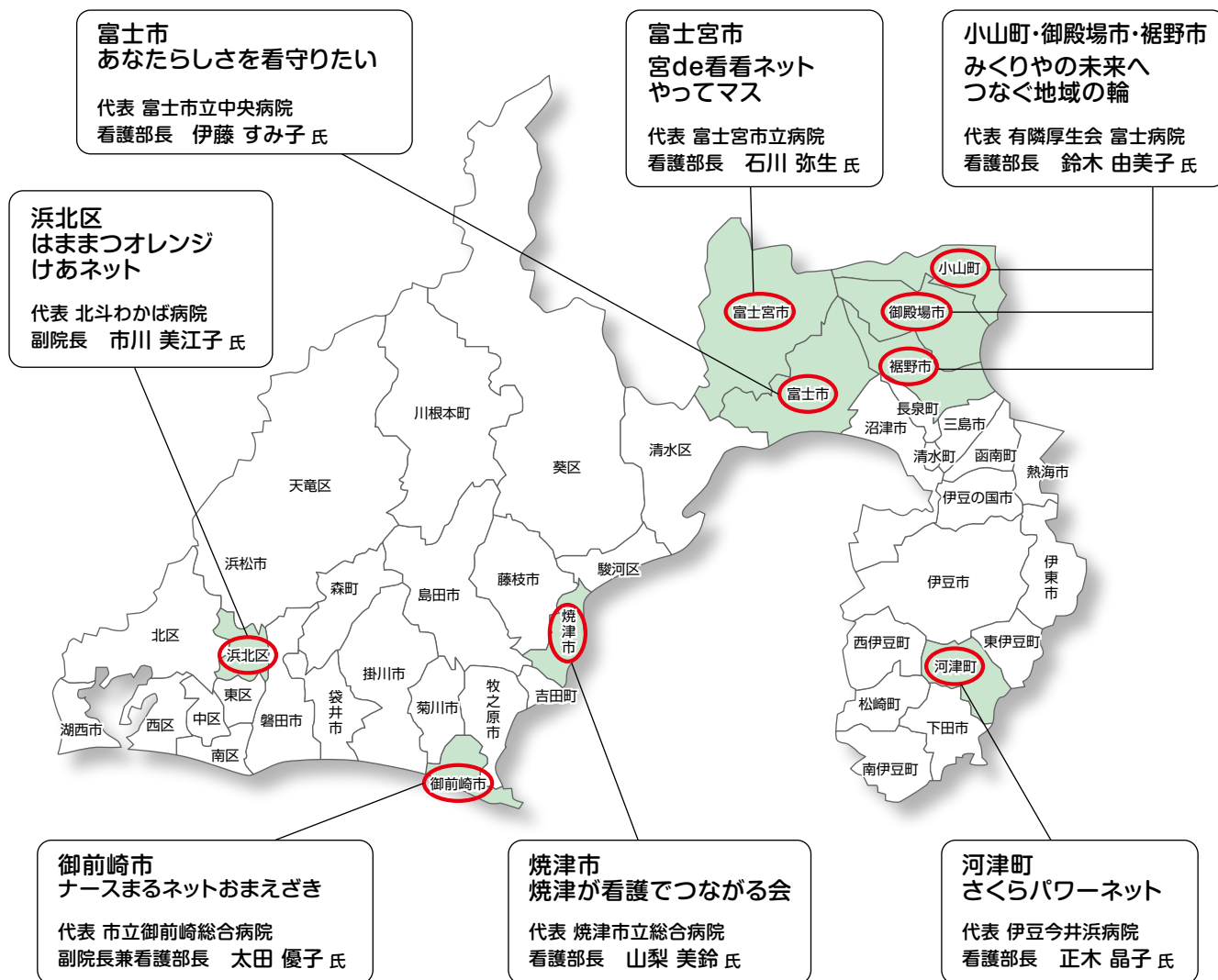
☆2019年度は看護実践能力の向上を目指して
「臨床推論を活かして看護力を高めよう」
「中範囲理論を活用した根拠ある看護実践」等
他にも新規研修を企画していますので多数の
ご参加をお待ちしております。



令和元年度 看看連携を基盤とした地域包括ケア推進支援モデル事業

7モデル地域紹介

平成29年度から3年計画でモデル事業を実施し、今年度は7地区に助成金を交付します。モデル地区では病院をはじめ、施設、訪看、行政等地域の関係職種がつながり、地域包括ケアの推進を目指して、5月8日（水）にキックオフを開催します。



2019年度静岡県看護協会立訪問看護4ステーション合同研修を終えて テーマ 「心地良い接遇・患者様対応 ～アンガーマネジメントを踏まえて～」

訪問看護ステーション大東 齋藤 教子

4月20日（土）に訪問看護4ステーション合同研修を、日本アンガーマネジメント協会認定ファシリテーター安達博氏を講師に迎え開催した。患者対応では日々悩みが多い私達だが先生は、人は誰でも自分の価値観を持ち「こうあるべき」という願望を持っている。それが満たされない時、悲しみや苦痛が「怒り」を生むという。理想と現実のギャップが「怒る理由」であり「私達を怒らせるものの正体」であると。今回、自分の価値観の枠組みに人を当てはめない、事が起こる前に考えや思いを伝えておくこと等、自らの不必要な怒りを回避できる方法を学んだ。怒りの感情のピークは長くて6秒である。自身の感情の

コントロールにより、相手の「べき」を察し、誠実な対応と心からの共感を寄せられる医療人でありたいと思った。



令和元年度ナースセンター事業計画

* 開催場所・日程の詳細はホームページをご覧ください

ナースバンク事業

◆求人・求職登録・就業斡旋

就業相談:あなたに合った職場を一緒に探します

移動相談:ハローワークに就業相談員が向き、就業の相談に
応じています。求人施設参加のセミナー・説明
会を同時開催します。

◆看護師の離職時届出制度(とどけるん)の運営・推進

届出制度の周知・登録促進(病院・施設への広報活動)

届出者への連絡・支援(現状把握・情報提供・再就業支援)

潜在看護師再就業支援事業

◆再就業準備講習会 年間7回開催(3日間)

◆介護施設等再就業研修 年間3回開催(3日間)

◆体験型再就業チャレンジ研修

個人の希望重視のプログラムで最寄りの病院や訪問看護ス
テーションで受講できる研修(3~5日)

◆地域でつくる協働開催型就業相談会(ナースのお仕事フェア)

◆看護職・看護学生等Uターン促進

移住フェア参加、県内外の看護師学校等養成所訪問

離職防止対策事業

◆離職防止相談

電話や面接による仕事や学校での悩み相談、カウンセリング

離職防止に関する調査研究(退職時アンケート)、情報提供

セカンドキャリアセミナー、再就職者フォローアップ研修

◆新人看護職離職防止

多施設合同新人研修・指導者研修受講者へのサポート

新人専用電話相談:月~金 9:00~16:00

基礎看護(採血、静脈注射、喀痰吸引等)技術指導

リフレッシュ研修(仮題)の開催

「看護のこころ」普及啓発事業

◆看護の日イベント開催(西部地区)

◆看護学校等進路説明・相談会:県内3所で開催(6~7月)

◆高校生1日ナース体験(高等学校在学学生対象:7~8月)

◆ふれあい看護体験(一般の方の1日ナース体験:5月)

◆看護の出前授業:看護職が小・中・高等学校に出向き授業

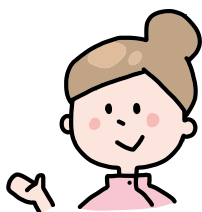
◆看護職こころざし育成セミナー:11月23日

◆広報:ナースセンターの役割・就業支援等の紹介冊子、 施設・看護学校等養成所訪問

平成30年度事業報告(平成30年4月1日~31年3月31日)

報告1 平成30年度ナースバンク事業(求人・求職・就職)より

求職者数	3,215 人
求人数	7,993 人
求人施設件数	1,261 件
就職者数*	965 人



報告2 届出制度

総届出人数	986人 (%)
就業していない	230人 (23.3%)
就業していないが求職中	256人 (26.0%)
就業中・就業予定(看護師など)	357人 (36.3%)
就業中・就業予定(看護師等以外)	34人 (3.4%)
学生	11人 (1.1%)
その他	28人 (2.8%)
就業区分設定なし	70人 (7.1%)

報告3 再就業準備講習会は県内7会場にて開催し、受講した66人の内46人(69.7%)が就職しました。

報告4 介護施設等再就業研修は3回開催し、44人が受講し36人(81.2%)が就業しました。

報告5 病院・訪問看護ステーション派遣型研修には3人が受講し、3人が就職しました。

お知らせ

1) 下田相談所が津波対策により、2階から4階へ引越しました。

2) 「病院・訪問看護ステーション派遣型研修」は「体験型再就業チャレンジ研修」と名称を変更しました。

*** 悩みは誰かに話しましょう ***

悩みを抱えていませんか?

悩みは一人で抱え込まずに、誰かに話しましょう。ナースセンターには相談窓口があります。

話した内容が他の人や職場に伝わることはありません。お気軽にご利用ください。

悩み専用ダイヤル

054-202-1780 月~金曜日 9:00~16:00

新人専用ダイヤル

090-2183-8734 はなしてみよう 月~金曜日 9:00~16:00

(公社) 静岡県看護協会 静岡県ナースセンター

(相談時間 9:00~16:00 本所のみ火~木は18:00まで)

本 所: TEL 054-202-1761 FAX 054-202-1762

東部支所: TEL/FAX 055-920-2088

西部支所: TEL 053-454-4335 FAX 053-401-3510

下田相談所(毎週木曜日): TEL 080-2650-0327

天竜相談所(毎週火曜日): TEL 080-2650-0237

総会は、定款により全ての正会員の過半数の出席をもって成立します。
出席できない方は、当日出席される方への委任をお願いいたします。

(委任状の記載について)

同封の委任状へ

- ① 会長または出席する方の所属・氏名を記入する
- ② ご自身の県会員番号と氏名を記入する(ゴム印の場合は押印すること)

総会当日に、委任状を持参されても原則受け取りできません。6月10日(月)までに郵送またはご持参ください。(FAX不可)
(郵送先 〒422-8067 静岡市駿河区南町14-25 静岡県看護協会 宛)

医療安全情報
2019年度 第1弾

医療安全推進のための取り組み

働き続けられる職場づくり推進委員会

新年度が始まりました。新人看護師が入職し、様々な医療処置を体験していることと思います。今回は、ダブルチェックについてです。ダブルチェックとは、医療事故を防止するために実施する二重の確認のことを言い、多くの医療現場で導入されています。ダブルチェックの方法には、2名で同時に確認する方法や、1名によるチェックの後、他者が時間差で確認する方法など、いくつかの方法が知られています。各医療機関において、どの方法を用いるか明確にし、行動レベルの統一を図っていく事が重要です。



うっかり・思い込み・失念・ルール違反などのエラー要因が含まれる事を意識して実施することが大切です

参考 公益財団法人 日本看護協会 医療安全推進のための標準テキスト

クイズに答えると、抽選で7名様にクオカードが当たる!



平成30年度末の
静岡県看護協会の
会員数は何名でしょうか?



応募方法

葉書又はメールに答えをお書きのうえ、下記にお送り下さい。正解者の中から、抽選で7名の方にクオカード(1,000円分)を差し上げます。当選者は「Vol.2」に掲載させていただきます。(ペンネーム可)

右記内容をご記入のうえ、応募してください。

● 答え ● 氏名 ● 所属 ● 電話番号 ● 〒 ● 住所 ● 看護しずおか感想 ● 看護協会へのご意見

お寄せいただいたご意見・ご感想は、看護しずおかに掲載させていただく場合があります。

締め切り

6月21日(金)消印有効

葉書の場合の宛先

〒422-8067 静岡市駿河区南町14-25 静岡県看護協会 総務部 看護しずおかクイズ係
※はがきが62円に値上がりをしていますので応募の際はご注意ください。

メールの場合の宛先

メールアドレス
kango@shizuoka-na.jp

当選者

「Vol.6」のクイズの答え：春風

ペンネームさくら様・ペンネームさき一ぬ様・ペンネームともちゃん様・ペンネームまいまい様
鈴木しげ子様・水崎和子様・前園親寿様